

# Sustainability Report

# 2024



株式会社浜屋  
サステナビリティレポート2024



## CORPORATE PHILOSOPHY

当社に関わる全ての方と共に成長、喜びを共有する。私たちはどうすればお客様が喜んでくれるかを常に考え、全ての方に感謝し、平等、公平に行動する。それが浜屋の経営理念「WIN-WIN」であり行動原理です。

### 代表メッセージ

2024年度におきましては、皆様からの多大なるご支援とご協力を賜り、おかげさまで過去最高となる売上高202億円を達成することができました。この場をお借りし、心より厚く御礼申し上げます。

持続可能な社会構築に向けて、年々企業に求められる責任が強まっている中で、当社のリユース・リサイクル事業は、循環型社会の実現に向けて重要な役割を担っていると考えております。今年度は、オークション事業が本格的に稼働し、リユース品の価値を最大限に引き出す新たなステージに突入しました。また、パートナー提携を着実に増やし、様々な企業様と持続可能なビジネスの推進に取り組みました。これにより、より多くのお客様に高品質なリユース品を提供することができ、リユース品の流通をより一層活性化できたと実感しております。

さらに今年度は、サステナビリティ方針を策定し、サステナビリティ推進体制を強化しました。当社の事業活動が環境や社会に与える影響をより一層考慮し、持続可能な成長を実現すべく取り組んでまいります。

今後も、働きやすく働きがいのある環境づくりに注力し、従業員一人ひとりが最大限に活躍できるよう努めてまいります。また、従業員のスキルアップやキャリア開発を支援するための研修プログラムをさらに充実させ、長期的な成長をしっかりとサポートしてまいります。

浜屋グループは、社会に求められる企業として、更なる発展を目指し、挑戦し続けてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### CONTENTS

- 02 代表メッセージ
- 04 会社概要
- 06 サステナビリティ方針
- 08 主なサステナビリティの取り組み

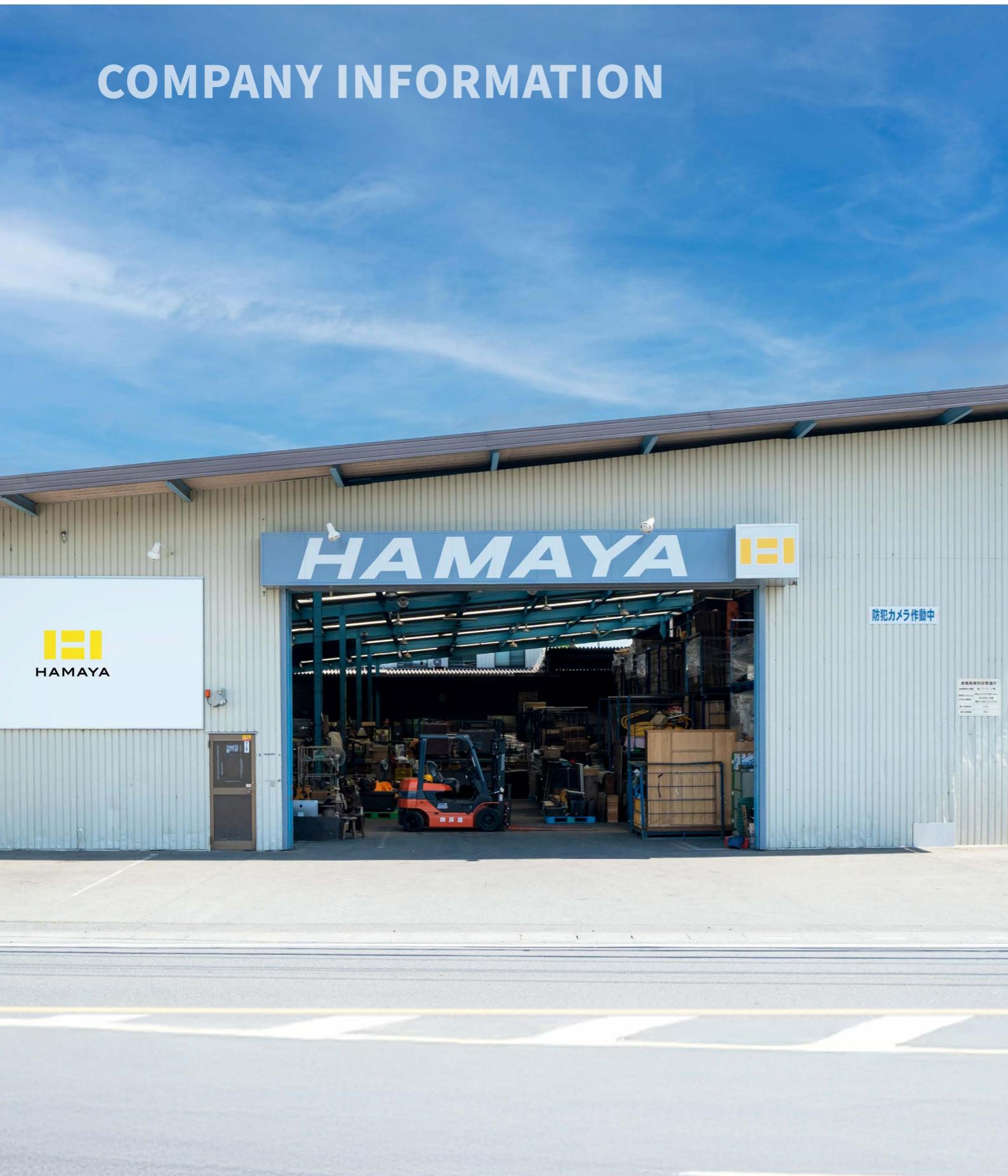
- 環境
  - 10 環境方針
  - 14 リユース事業
  - 24 リサイクル事業
  - 32 パートナーシップ
  - 42 企業活動を通じた取り組み

- 社会
  - 44 社会方針
  - 46 人権
  - 52 人材
  - 56 労働安全衛生
  - 58 健康経営
  - 62 社会貢献活動

- ガバナンス
  - 64 ガバナンス方針
  - 66 コンプライアンス・リスクマネジメント
  - 68 お客様とのコミュニケーション・DX推進

報告対象期間：2023年10月～2024年9月  
一部、当該期間外の内容も記載しています。

# COMPANY INFORMATION



|      |   |          |  |
|------|---|----------|--|
| 商号   | 株式会社浜屋  | 事業内容     | リユース・リサイクル事業<br>産業廃棄物収集運搬業<br>オークション会場運営<br>EC事業         |
| 所在地  | 本社 埼玉県東松山市下唐子1594<br>事業所 買取事業所 17ヶ所<br>リユースセンター(オークション会場)<br>東日本マテリアルセンター(破碎工場) |          |  |
| 設立   | 1991年1月21日  | 国内グループ法人 | 有限会社儀間商店<br>株式会社ユーズドネット<br>株式会社エコロジテム                    |
| 資本金  | 6,000万円   | 海外法人     | HAMAYA DO BRASIL<br>HAMAYA France                        |
| 売上高  | 202億円   | その他      | 保育事業 化粧品事業 北欧家具事業<br>保険事業 不動産事業 フィットネス事業<br>特定非営利活動法人はまや |
| 従業員数 | 428名  |          |  |

|                        |   |
|------------------------|---|
| 許認可                    | 古物商許可 埼玉県公安委員会第113A0737<br>古物市場主許可 第431130061053号<br>特別国際種事業者 第05933号象牙製品等<br>酒類販売業免許<br>産業廃棄物収集運搬許可<br>東京都許可番号 13-00-209936<br>埼玉県許可番号 01100209936<br>群馬県許可番号 01000209936<br>千葉県許可番号 01200209936<br>神奈川県許可番号 01400209936 |
| ISO認証登録                | 9001 / 14001 / 27001  |
| *認証範囲                  | リユースリサイクルセンター   |
|                        |   |
| 健康経営優良法人認定             |   |
| 埼玉県健康経営実績事務所認定         |   |
| 埼玉県健康宣言事業所登録           |   |
| 国連グローバル・コンパクト署名(2018年) |   |
| 国連PRIDE日本 SDGsアワード     |   |
| SDGs推進ベスト企業賞(2023年)    |   |



当社は、2018年11月に国際連合が提唱する国連グローバル・コンパクトに署名いたしました。国連グローバル・コンパクトの掲げる「人権・労働・環境・腐敗防止」に関する10原則を支持し、すべてのステークホルダーに対して責任のある経営と持続可能な社会への発展に向けた取り組みを推進してまいります。



一般社団法人国連P.R.I.D.E日本が主催するSDGsAWARD2023にて、「SDGsベスト企業」を受賞しました。当社のリユース事業を通して、日本国内の廃棄物減量化、開発途上国の生活水準の向上等を達成し、国を超えた循環型社会の実現と環境負荷低減に貢献していることが評価されました。

# Sustainability policy



会社概要

サステナビリティ方針  
取り組み(一覧)

環境

社会

ガバナンス

## サステナビリティ基本方針

浜屋グループは、経営理念「WIN-WIN」のもと、リユース・リサイクル事業を通して、国・地域を超えた循環型社会の実現に貢献します。

環境負荷低減に直結している当社の事業活動を、様々な関係者の皆様と共に持続可能な状態で拡大していくことが、循環型社会の実現そして浜屋グループの企業価値向上につながる考えています。社会から信頼される企業を目指し、浜屋グループに関わる全ての方と共に成長し、皆様に喜んでいただけるよう、下記の基本方針をもとに行動していきます。

- 01 リユース・リサイクル事業を通じて資源循環を促進し、環境問題の解決を目指すとともに、リユース・リサイクル事業を通じた経済発展を目指します。それらを通して、日本国内や開発途上国の人々の暮らしの質の向上に貢献します。
- 02 法令をはじめとした社会のルールを遵守するとともに、公正・誠実に業務を遂行し、浜屋に関わる全ての方に平等・公平に接します。
- 03 従業員の健康・安全に配慮し、労働環境の向上に努めるとともに、個人の人権と多様性を尊重し、一人ひとりが活躍できる働きがいのある事業活動を推進します。

## サステナビリティの推進体制

浜屋グループでは、持続可能性の観点から企業価値を向上させるため、サステナビリティの推進体制を強化しています。

2024年5月より、部署横断型のサステナビリティ推進プロジェクトチームが発足し、サステナビリティ推進により注力できる体制となりました。

各部署1名ずつプロジェクトチームに参加し、それぞれの部署でサステナビリティを推進できる連携体制を整えています。

基本方針・推進体制

サステナビリティの取り組み(一覧)

## 浜屋グループの主なサステナビリティの取り組み

浜屋グループは、企業活動を通じて社会課題の解決に貢献するため、環境・社会・ガバナンス（ESG）の観点を重視し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。



|               | ESG | テーマ                           | 浜屋グループの主な取り組み  | 主に関連するSDGs   |
|---------------|-----|-------------------------------|--|--|
| 事業を通じた社会課題の解決 | E   | 廃棄物の排出量削減と資源循環                | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内外で発生する不要品の再資源化・再商品化（国・地域を超えた資源循環）</li> <li>商品価値を最大化するための販売・仕入チャネルの拡大</li> <li>海外から収集した電子基板の再資源化</li> <li>リユース・リサイクルの質の向上のための投資</li> <li>浜屋のリユース・リサイクル事業のCO2削減貢献量見える化</li> </ul> |     |
|               | E   | 資源循環を可能にするネットワーク構築・拡大パートナーシップ | <ul style="list-style-type: none"> <li>モノと人をつなぐネットワークの構築・拡大（ハブ機能の確立）</li> <li>行政、事業者、民間企業、消費者等様々なセクターから不要品を回収するネットワークの構築・拡大、資源循環促進</li> <li>障害者就労支援施設と連携したリサイクル活動の促進</li> <li>廃棄物削減や環境問題等に関する意識啓発活動</li> </ul>           |   |
|               | S   | 人々の暮らしの質向上                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>国内で回収した家電製品等の日用品を開発途上国（約70か国）の人々や国内の新たに必要とする人への販売</li> </ul>  |     |
|               | S   | 障害を持つ人々の就労機会創出・就労支援           | <ul style="list-style-type: none"> <li>就労継続支援B型の就労支援施設（NPO法人はまや）の運営</li> <li>障害者就労支援施設への業務委託の拡大</li> </ul>   |    |
|               | G   | ステークホルダーのコンプライアンス意識向上         | <ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン全体の意識向上のための勉強会実施、情報発信</li> </ul>  |   |
|               | S   | 働きやすい・働きがいのある職場環境構築           | <ul style="list-style-type: none"> <li>従業員一人ひとりが自律的に成長し、生涯活躍し続けられる環境づくり（人材育成とキャリア支援）</li> <li>従業員の心身の健康が維持できる職場環境の改善（事故防止、健康増進、ハラスメント対策、設備投資）</li> </ul>   |   <br> |
| 経営基盤の強化       | S   | 多様な人材の活躍推進                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが属性に関係なく活躍できる環境整備と活躍機会の促進</li> <li>シニア層のキャリア支援</li> <li>職業生活と家庭生活との両立ができる環境/仕組みづくり</li> </ul>  |    |
|               | G   | ガバナンス強化                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>透明性・効率性の高いガバナンス体制の構築</li> <li>事業運営におけるDX推進</li> <li>リスクマネジメント強化</li> </ul>  |   |



## 環境方針

浜屋グループは、地球環境を守りながら、人々の豊かな暮らしを支え続けていくために、循環型社会の形成を目指します。私たちは、リユース・リサイクルの事業活動を通して環境負荷低減に大きく貢献するとともに、率先して地球環境の保全に配慮した企業活動を推進します。



### 01 廃棄物の排出量削減と資源循環

主事業であるリユース・リサイクル事業を通して、国内で発生する廃棄物の排出量を削減し、地域・国との枠を超えた資源循環を促進します。SDGsゴール12「つくる責任、つかう責任」ターゲット12.5「2030年までに、予防、削減、リサイクル、および再利用（リユース）により廃棄物の排出量を大幅に削減する。」の達成に直結する2023年10月～2024年9月の目標として、以下を定めています。

海外リユース点数:908万点（コンテナ2,330本）/年

国内リユース点数:261万点/年

ベースメタルリサイクル取扱量:64,000t/年

都市鉱山リサイクル取扱量:5,200t/年

当社でリユース（再利用化）、リサイクル（再資源化）する商品の取扱量を増やしていくことが、上記目標達成に繋がっていくと考えています。

### 02 資源循環を可能にするネットワーク拡大

浜屋グループは、リユース品・リサイクル品の取扱量を増やすだけでなく、回収・販売のルートを増やすことも重要だと考えています。当社が構築している不要品回収・販売の既存のネットワークでは取り扱い切れていない新たなルートを開拓し、行政、他民間企業等とのパートナーシップを構築しながら、資源循環の輪を拡大し続けます。

### 03 環境法令等の遵守

世界や日本の環境関連法令、地域の条例・協定等を遵守し、適切な対応を行います。

### 04 環境教育・啓蒙 / 啓発活動

リユース・リサイクル事業を行う企業として、環境問題に関する啓蒙/啓発活動を積極的に推進し、取引先を含めた多くの方々の環境への興味や関心を高め、リユース・リサイクルに関する意識向上に取り組みます。社内で教育や研修などを実施することで、従業員全体の環境意識を向上し、全従業員で環境課題解決に向けて取り組みます。

### 05 エネルギー効率の改善 / 省エネルギーの推進

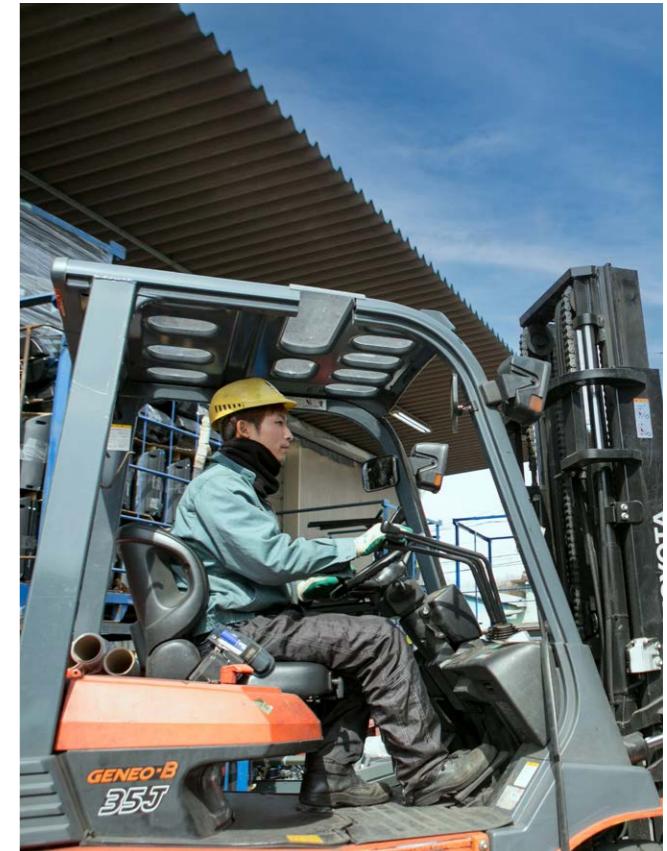
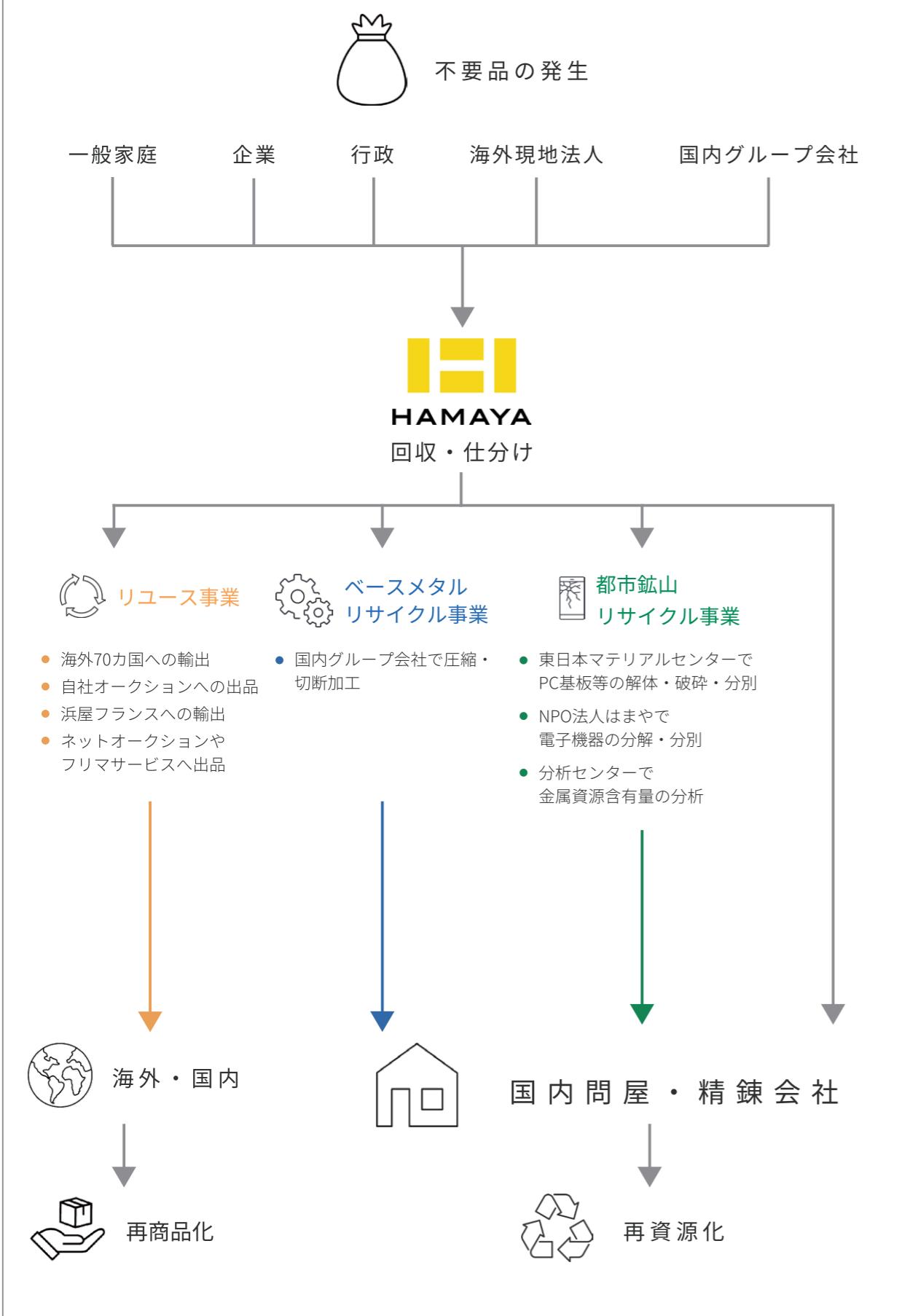
事業活動における温室効果ガス排出削減のため、省エネルギー化の推進等エネルギー効率を継続的に改善し、環境負荷を低減します。

### 06 環境負荷の少ない原料・資材等を選択

持続可能な資源利用のために、環境負荷の少ない原料・資材等を選択するよう努めます。

### 07 廃棄物削減

会社より排出される廃棄物の削減に努め、資源循環を促進します。





## リユース事業

当社は、廃棄されるはずだった製品を中古製品として買取り、海外へ輸出販売をしています。当社のリユース事業は、資源のグローバル循環へ大きく貢献しています。これまで家電製品や自転車を中心に商品の取扱量を増やして参りましたが、現在ではそれだけでなく、家具や雑貨など生活用品全般から、古道具、民芸品、骨董品などまで取り扱っています。



### 循環型社会の実現・環境負荷軽減

国内で不要となった家電製品や家具雑貨など、多種多様なものを国内外で必要とされる新たな使用者の元へ届けるリユース事業は、廃棄物の排出量削減に大きく貢献しています。

当社でリユース品が取引されたことで、年間約 1,200 万点以上<sup>\*1</sup> もの家電製品や家具雑貨、自転車等が廃棄されずに、次の必要な人の元へ渡っています。

廃棄物削減により CO2 排出量も削減することができ、環境負荷軽減、気候変動への対応にもつながっています。

当社は、約 70 か国<sup>\*2</sup> もの国々へリユース品を届けており、グローバル規模での循環型社会の実現に大きく寄与しています。

\*1 2023 年 10 月 - 2024 年 9 月の国内外取扱量

\*2 これまでの取引実績国数



### 世界の人々の暮らしの質の向上

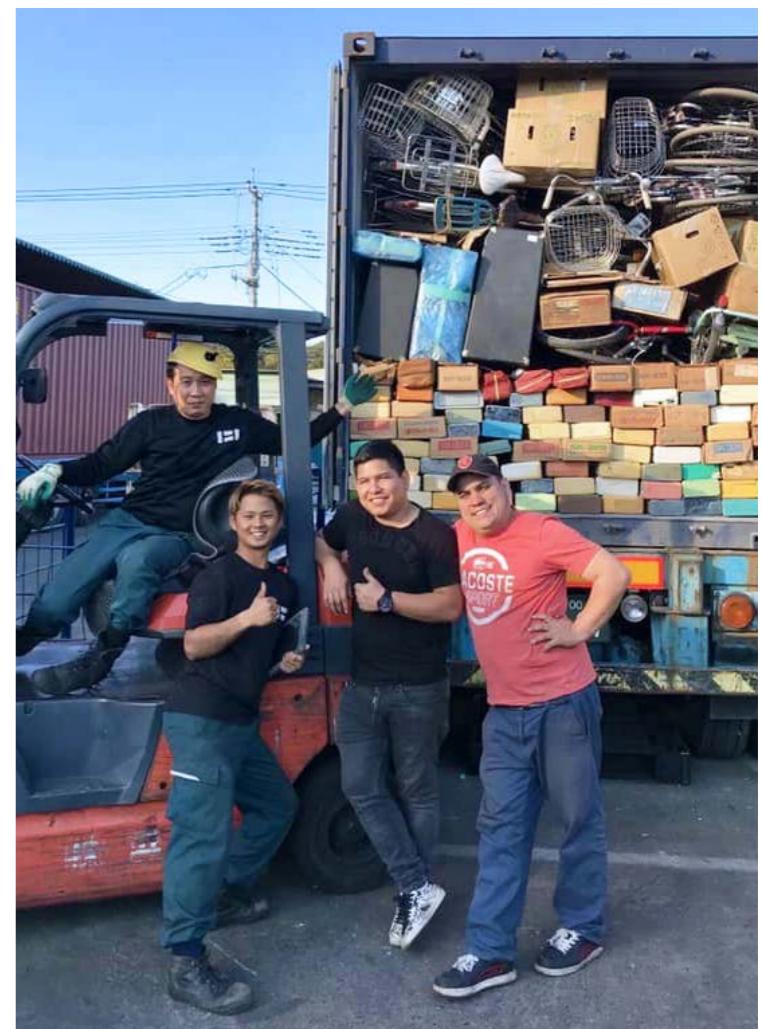
当社は、開発途上国を中心とした約70か国もの国々へリユース品を届けています。それらの商品が現地で一つひとつ修理、販売されることで、現地の雇用創出にも繋がっています。また、新品を購入することのできない人々が、安価で日本の中古品入手することができ、人々の暮らしの質の向上に貢献しています。

### 回収ネットワーク構築

約 8 万 3 千<sup>\*3</sup> の取引先（事業者や一般市民、企業、行政など）と連携した不要品の回収ネットワークを構築しています。浜屋の全国の拠点を通して、あらゆる人々から不要品の回収をしています。

\*3 2023年10月～24年9月の取引先（仕入）実数。

2023年9月より開始したEC事業（宅配買取）の利用者数が追加され、前年度より大幅に増加。





## リユース海外

取引実績国数 **70** 国 / 年 \*1

アメリカ、カンボジア、カメルーン、ギリシャ、グアテマラ、シンガポール、タンザニア、チリ、ドバイ、フィリピン、フランス、ブルガリア、マリ、マレーシア、ミャンマー、ナイジェリア、ニカラグア、パキスタン、ペルー等

コンテナ出荷本数

目標 : 2,330 本 / 年 \*2

実績 : **2,090** 本 / 年 \*2

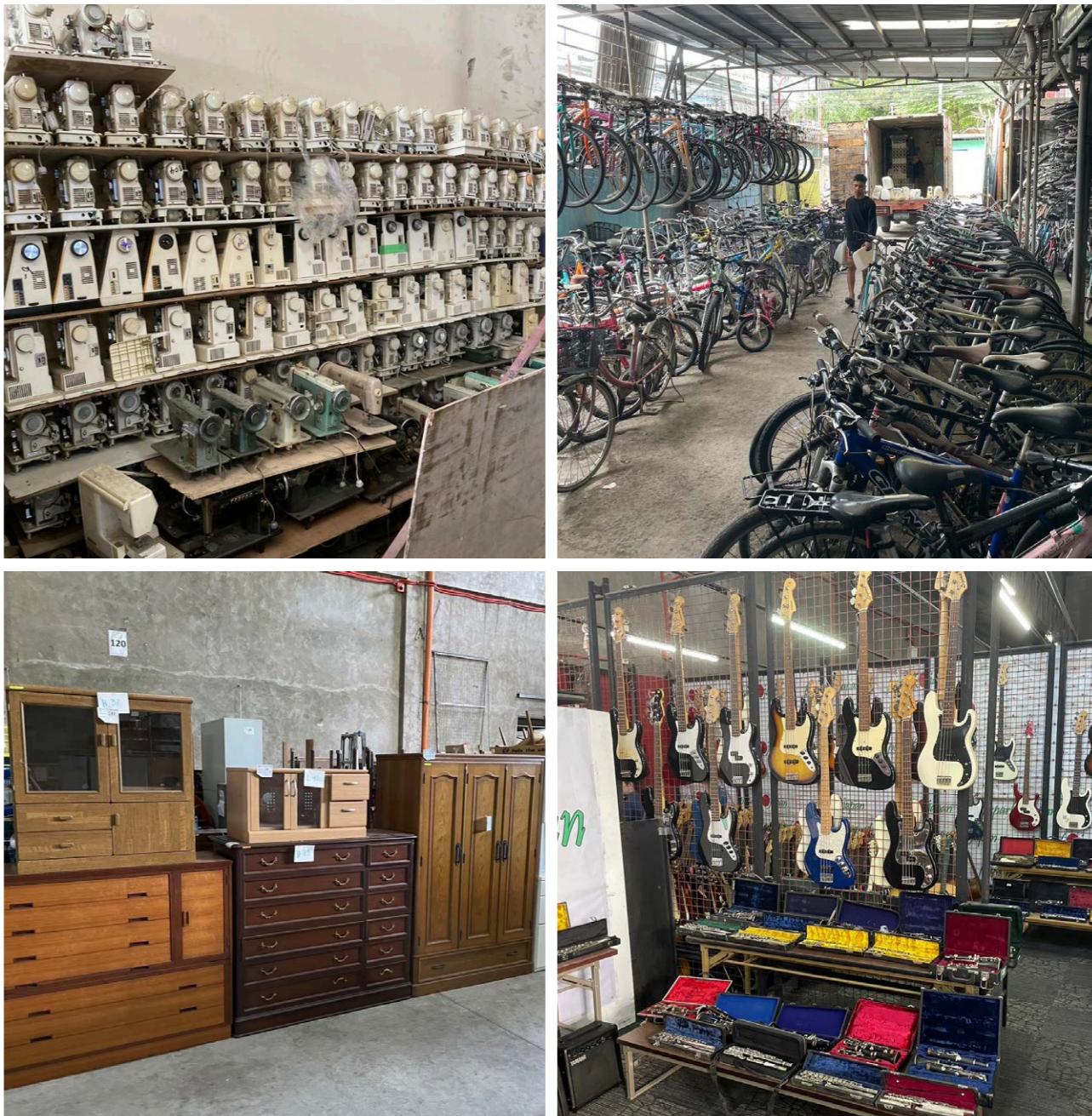
商品輸出点数

目標 : 908 万点 / 年 \*2

実績 : **900** 万点 / 年 \*2

\*1 これまでの取引実績国数

\*2 2023年10月 - 2024年9月の国外取扱量



## リユース品海外販売の流れ

01 受け入れ → 02 分類・梱包 → 03 積込 → 04 輸出 → 05 再販売

一般家庭や事業者、行政、企業等から不要品を受け入れます。受け入れした商品を分類し、必要に応じて梱包します。注文内容に応じてコンテナに商品を積み込みます。コンテナが販売先の国々へ輸出されます。販売先の国々で、修理・メンテナンスされ、再販売されます。

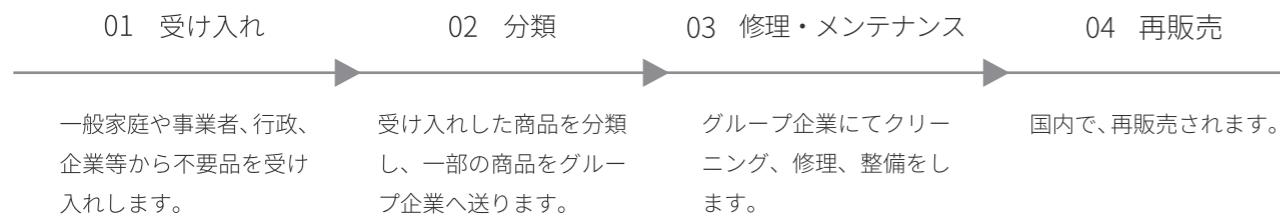


## リユース国内

当社で受け入れた商品の一部は、グループ企業にてクリーニング、修理、整備を行い、リユース品として国内で販売しています。一品一品、知識を持った技術者によってメンテナンスされ、国内で必要とする次の使用者へ送り届けています。

国内流通点数  
目標：261万点／年  
実績：**329**万点／年\*  
\*2023年10月-2024年9月の国内取扱量

## リユース品国内販売の流れ



希少性や美術的な価値がある古道具、民芸品、骨董品、古美術品などの一部も国内で流通させています。



デンマークやイギリスから輸入した味わいのあるヴィンテージ家具を、丁寧にメンテナンスし再生させ、国内販売しています。一品一品国内で解体し、隅々までクリーニングや補修を行っています。

## リユースセンター

リユースセンターは、EC事業、オークション事業、骨董事業、ブランドリユース事業の4つの事業の拠点となります。それぞれの事業を通して、リユース品の価値を最大限に高めた売買を実現します。

### 骨董事業

古い家電、和家具や雑貨をビンテージやアンティークとして価値を見出し、アジアやヨーロッパへ輸出をしています。また、自社開催のオークションにも出品し、通常の輸出よりも高額での販売を実現しています。今後はヨーロッパへの販売を強化し、国内では需要が低いものの欧州では需要のある商品の取り扱いを増やし、リユースの促進を目指します。



### EC事業→

株式会社オズビジョンとの業務提携により、不要品の宅配買取「Pollet」を通じて高品質な商品を直接仕入れ、主にeコマースで販売しています。これにより、従来の店舗買取では対応できなかった顧客層(約41,400人\*)からの仕入れと販売販路の拡大を進めています。今後、ローラーコンベアーや一元管理システムの導入で作業効率を向上させ、複数のECモールへの出品を強化し、自社独自の宅配買取事業を確立します。

\*2023年10月～2024年9月の取引先（仕入）実数



### ←ブランドリユース事業

ブランド品の買取、販売を行っています。専門家が一品一品丁寧に真贋を行い、適正な価格で売買をしています。2023年12月から自社オークションに出品し、販路を拡大するとともに、査定ルールの明確化と入札案件の強化で仕入れと高額販売に繋げます。





会社概要

サステナビリティ方針・  
取り組み(一覧)

環境

社会

ガバナンス

## 浜屋オークションの歩み

2023年10月  
浜屋オークション第一回開催

2023年12月  
サカイ引越しセンター様と業務提携によりオークション出品商品数の増加

2024年3月  
家具・家電・雑貨オークションを月1回から月2回へ開催日を増やす

2024年4月  
フィギュア・ホビーオークション事前入札&リアル開催を実現

2024年9月  
現在

## オークション事業

国内外のリユース市場活性化のために売り手よし、買い手よしの好循環な市場を目指しオークションを開催しています。月に5回、各カテゴリーごとにオークションを開催し、多様で専門性の高い商品を一度に取引できる場を提供します。これまで築いてきた国内外顧客との信頼関係を基盤に、今後も世界中から新たな参加者を迎える、さらなる市場の拡大を目指します。

## 浜屋の役割



## 取扱いカテゴリー

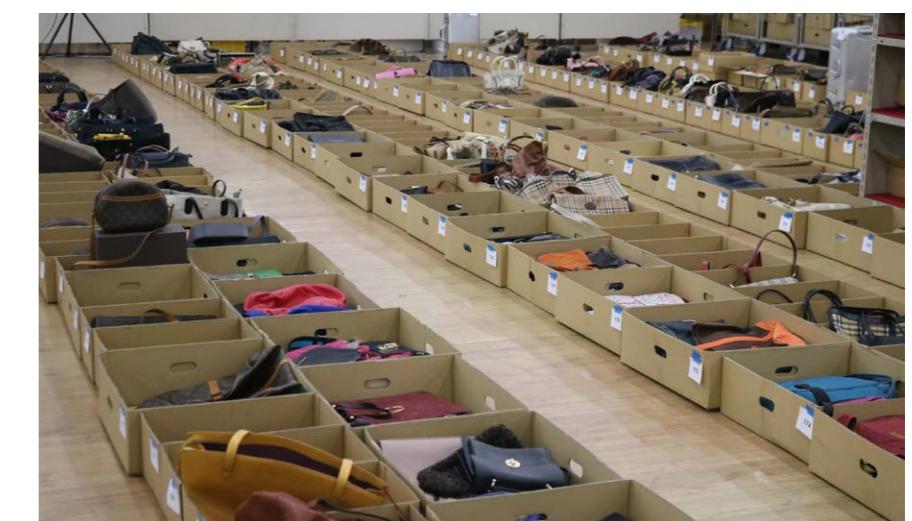
大道具 / 古美術 / 洋食器 / フィギュア・ホビー / 家電・家具・雑貨 / ブランド品

## 総取引ロット数

\*ロット数=競りにかかる件数

**約 97,500 件**

\*2023年10月-2024年9月



## 総来場者数

**2,953 人**

中国、タイ、ベトナム、フィリピン、パキスタンなど世界各国より来場いただいているます。

\*2023年10月-2024年9月



## リサイクル事業

当社では、全国 17 店舗にて、鉄・銅・アルミなどベースメタルと言われる金属資源のリサイクル循環を可能にするために、回収・分別・加工を行うベースメタル事業を展開しています。都市鉱山リサイクル事業では、廃電子基板等に含まれる貴金属の含有量を分析できる環境を自前で整えるとともに、分解・破碎などの加工作業を担う工場を運営し、一連のリサイクル過程の中で大きな役割を担っています。これらの取り組みによって競争力を高め、適正かつ高単価での買取りを可能にしており、安定した品質のリサイクル材の納品に繋げています。



### 循環型社会の実現・環境負荷軽減

金属資源や廃基板等を回収し、国内精錬会社への橋渡しを通して、廃棄物の排出量を大きく削減しています。当社では、鉄・銅・アルミなどの金属資源や廃電子基板等のリサイクル品を、年間 72,055t\*1 取り扱っています。

ブラジルのグループ企業や、その他海外の取引先より廃電子基板を回収しており、国内だけに留まらずグローバルな資源循環に寄与しています。

これらの金属資源を再資源化することで、CO2 の排出量も削減することができ、環境負荷軽減、気候変動への対応にも繋がっています。

\*1 2023 年 10 月 - 2024 年 9 月の国内外取扱量



### 障害を持つ人々への就労支援

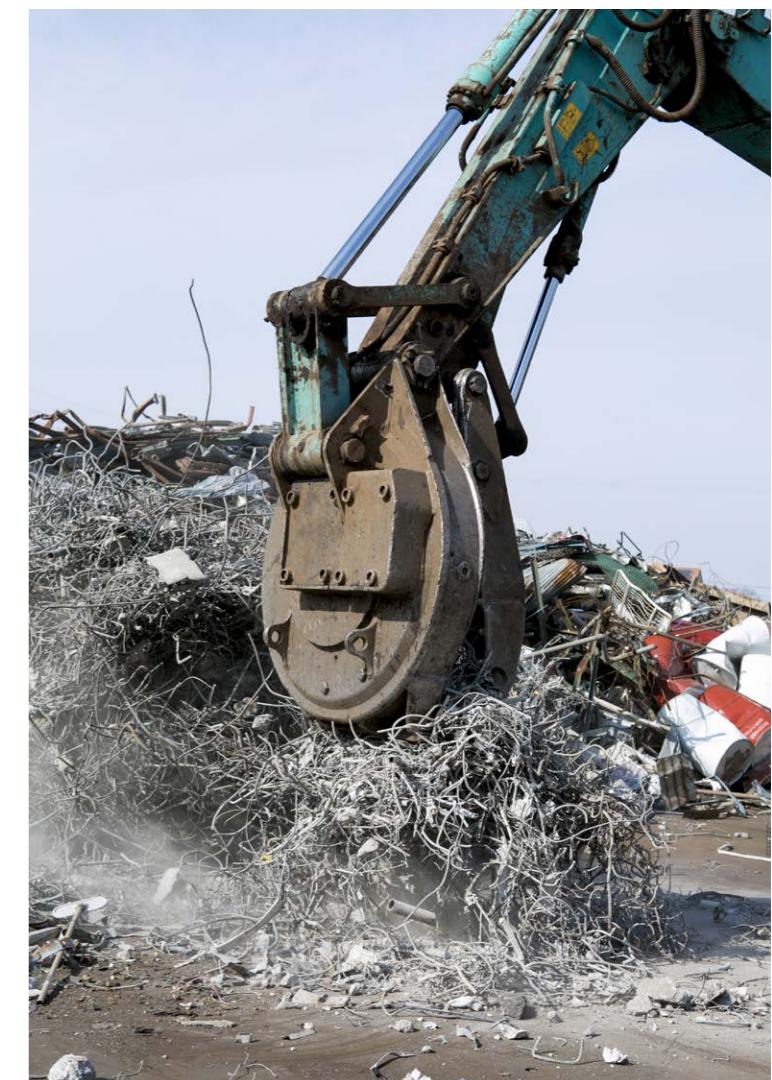
当社が回収したゲーム機やノートパソコンなどの小型家電製品の分解・仕分けを就労支援施設に委託することで障害を持つ人々の就労機会の創出と就労支援に貢献しています。



### 回収ネットワーク構築

約8万3千\*2の取引先（事業者や一般市民、企業、行政など）と連携した不要品の回収ネットワークを構築しています。浜屋の全国の拠点を通して、あらゆる人々から不要品の回収をしています。

\*2 2023年10月～24年9月の取引先（仕入）実数。  
2023年9月より開始したEC事業（宅配買取）の利用者数が追加され、前年度より大幅に増加。





## ベースメタル事業

ベースメタル事業では、鉄・銅・アルミなどベースメタルと言われる金属資源のリサイクル循環を可能にするために、回収・分別・加工を行っています。日本国内には、金属資源を有効活用するための様々なリサイクルシステムと技術が存在します。金属資源を安定的にリサイクルするためには、回収網の構築とリサイクル可能な状態に分別・加工することが重要です。当社では、全国17拠点を活用して、安定した金属資源の回収に努めています。回収された金属資源は、最適なリサイクルシステムにより新たな資源へと生まれ変わっていきます。



### 取扱量

ベースメタル  
目標 : 64,000t / 年

**66,620 t / 年**

アルミホイール付きタイヤ、  
自動車触媒など

**125,675 個**

コンテナ取引国  
大韓民国、インド

\*2023年10月- 2024年9月の取扱量



### ベースメタルリサイクル事業の流れ

01 受け入れ

一般家庭や事業者、行政等から受け入れします。

02 仕分け・保管

受け入れたものを金属の種類ごとに分類し、一定の量になるまで保管します。

03 出荷・再資源化

国内精錬会社や商社へ出荷し、再資源化されます。

## 都市鉱山リサイクル事業

都市鉱山リサイクル事業では、国内のみならず海外からも廃電子基板や廃電子機器等を回収し、国内の精錬会社へ橋渡しをしています。パソコンや携帯電話等に含まれている、金・銀・パラジウム・銅などを再資源化しています。廃電子基板に含まれる金属含有量の正確な分析には特に高い技術が必要とされますが、当社では分析センターを保有し、自社で分析できる環境を整備しています。また自社工場で分解や破碎など加工作業も行っており、一連のリサイクル過程で大きな役割を担っています。



都市鉱山リサイクル品取扱量

目標：5,200t / 年

**5,435 t / 年**

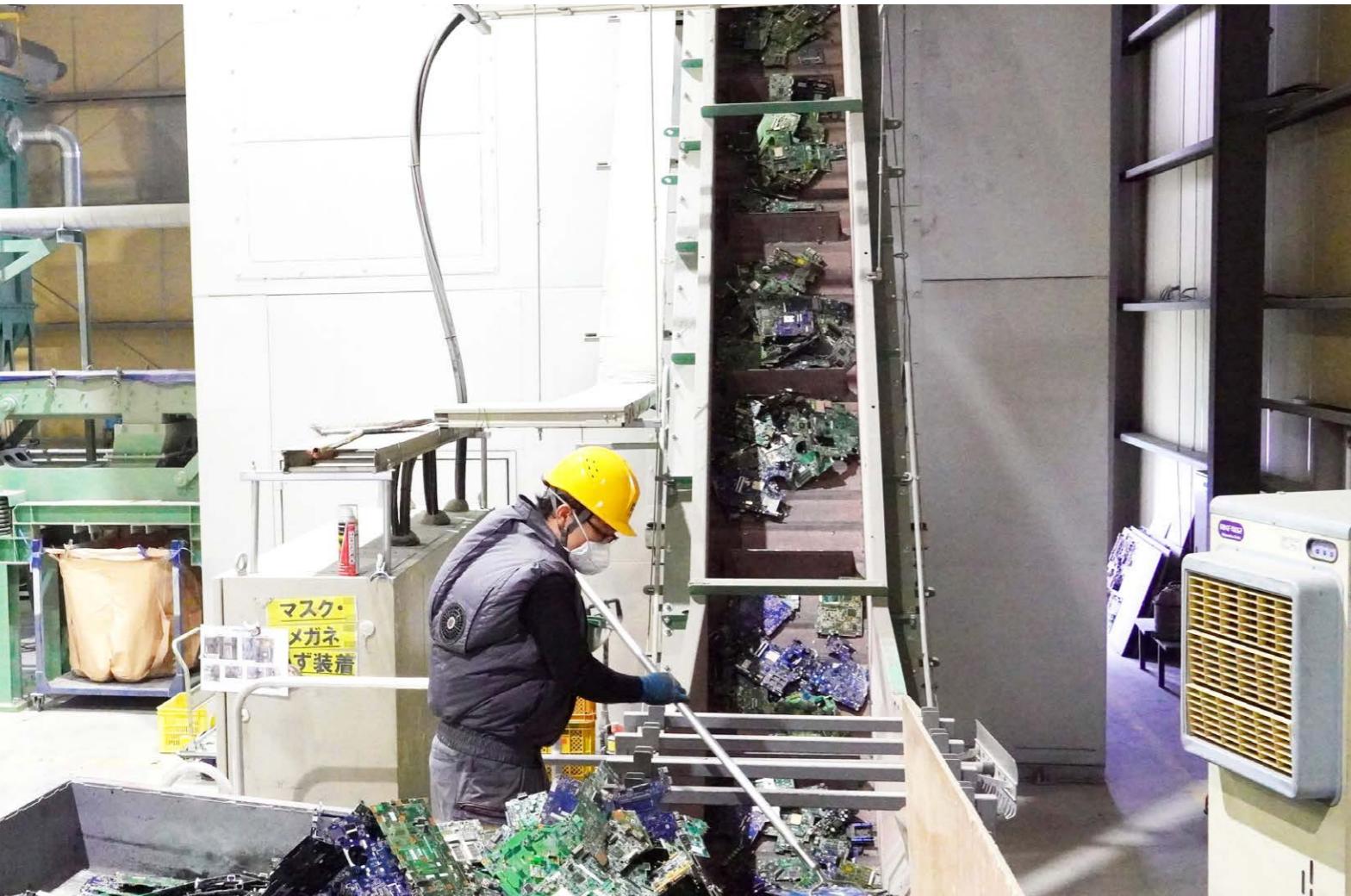
\*2023年10月- 2024年9月の取扱量

過去取引実績国

フィリピン、ブルネイ、香港、  
シンガポール、ブラジル、イ  
ンドネシア、モンゴル

### ↓東日本マテリアルセンター

廃電子基板などの保管、品質管理、破碎、販売を行っています。性能の高い破碎機を用いて、高効率でリサイクルできる環境を整備しました。小型家電等の分別・分解も行っています。



電子スクラップ取扱品

電子基板、電源基板、CPU、メモリ、携帯電話、スマホ、タブレット、ポケットwifi、PCサーバー、HDD、外付けHDD、電源BOX、光学ドライブ、PCカード、ネットワーク機器、メモリーカセット、ケーブルコネクタ、金メッキ商品など



らくらく買取サービス

2019年より、基板、電子部品、電子機器、各種スクラップ品などを段ボールで宅配いただき買取を行うサービスを実施しています。全国どこからでも買取可能で、法人・個人問わず様々なお客様にご利用いただいているいます。



分析センター

自社で保有している分析センターでは、ICP発光分光分析装置を使用して、廃基板等に含まれる貴金属の含有量を計測しています。正確な含有量を計測することにより、適正な価格での買取を可能にしています。

### 都市鉱山リサイクル事業の流れ

01 受け入れ

一般家庭や事業者、行政等から受け入れします。海外で回収された廃電子基板もあります。

02 分解、仕分け、粉碎

分解→仕分け→破碎を行い、より良い品質のリサイクル材を提供できるようにしています。

03 出荷・再資源化

精錬会社に出荷し、再資源化されます。



## 不要品寄付サービス「キコレ」

不要品を段ボールに入れて送っていただくことで社会貢献につながる寄付サービスを実施しています。リユース品として再利用できるものは途上国へ輸出し、リユースできないものは資源として活用しています。要らなくなったものを捨てるのではなく、「世界の誰かのためになるのであれば」という思いを持った方々にサービスをご利用いただいています。



## 寄付することで生まれる4つの支援

### 01. 環境保護

本来廃棄されるはずだったモノを再利用・再資源化することができます、廃棄物の削減、CO2排出量削減にもつながっています。

### 02. 障害者の雇用創出

リユースに適しない一部の電子機器を分解・商材ごとに分別する作業を就労支援施設に委託しており、一般企業では就労が困難な方に働く場の提供と、自立した生活を送るためのサポートをおこなっています。

### 03. 途上国の人々の暮らしの質の向上

寄付品を途上国にリユースすることで、現地の人々の暮らしの質の向上や教養を高めることにつながっています。また商品が現地で修理、販売されることから雇用創出にもつながっています。

### NPO法人へウエディングドレスの寄付

ご寄付いただいた4着のウエディングドレスをNPO法人DEAR MEに寄付しました。これらのドレスは、フィリピンの貧困層の子どもたちが出演するファッションショーの衣装としてリメイクされました。衣装は現地の子どもたちによってデザインされ、日本のボランティアの方々の手によって高い再現度で作られました。



### 同封されていたお客様からのお手紙

「誰かのために」という想いでご寄付くださる方が多く、お手紙が同封されていることもあります。



## 新プロジェクト



### フロン回収サービス

廃棄する業務用エアコンや業務用冷蔵庫等、フロンが使用されている業務用機器全てを対象に、法律に則った方法で適切にフロンの回収を行っています。回収したフロンは、フロン再生、破壊処理業者に引き渡すことで環境保全に貢献しています。

### これまでの回収実績

95台 2022年12月～2023年9月

216台 2023年10月～2024年9月

### ホームページ



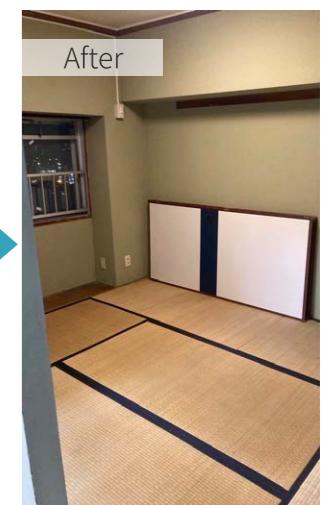
### Instagram



### 遺品整理生前整理

老人ホームへの入居等で住居が不要になった際、ご本人や共働き・遠方等の理由で時間が取れない親族に代わり、物品を仕分け、住居をきれいに片付ける遺品整理生前整理をおこなっています。リユース、リサイクル品は当社で買取り、修理・メンテナンスを通して新たな命を吹き込み、海外の必要とされている方へ届けることに加え、廃棄物削減にも貢献しています。

### これまでの実績 16件



フロン回収サービスと遺品整理生前整理は、従業員が提案して開始された新プロジェクトです。2022年に実施された社内コンペで、部署横断型の「myプロ事務局」によって選出されました。

\* my プロについては p46 を参照

# PARTNERSHIP



会社概要

サステナビリティ方針・  
取り組み(一覧)

環境

社会

ガバナンス

リユース

リサイクル

パートナーシップ

環境教育  
-省エネ推進



## パートナーシップで相乗効果を

私たちはパートナーシップを組み、それぞれの強みを活かすことで、個々では出せない効果や影響力を発揮できると考えています。

そのため、当社でも国内外のグループ企業や行政、民間企業など、さまざまなセクターと協力し、資源循環を可能にするネットワークを構築しています。今後も信頼関係の維持・向上に努め、持続可能なパートナーシップを構築し、循環型社会の実現を目指します。

## 商品価値の最大化

国内外のグループ企業と連携し、当社に集まつてくるありとあらゆる物を最適な形でリユース・リサイクルしています。循環型社会の構築に貢献するべく、グループ企業が一丸となって、商品価値の最大化を目指しています。

### 株式会社ユーズドネット

株式会社浜屋に集まつた商品の内、国内にてより需要のある物に関しては、株式会社ユーズドネットにて、クリーニング、修理、整備を行っています。一品一品、知識を持った技術者によってメンテナンスされ、国内で必要とする次の使用者へ送り届けています。

### 有限会社儀間商店

有限会社儀間商店では、鉄・非鉄金属の産業廃棄物処理を専門に行ってています。株式会社浜屋で回収された鉄・非鉄金属の一部が、有限会社儀間商店にて切断、圧線、加工されます。加工を行ったのち、国内精練会社等へ引き渡し、リサイクルへつなげています。

### NPO法人はまや 鶴ヶ島作業所 / 都作業所

NPO法人はまやは、就労継続支援B型の就労支援施設で、障害や難病があり企業で働くことが困難な方の就労訓練を行っています。株式会社浜屋で回収されたパソコンやゲーム機などの小型家電の分解・仕分けをしています。

### 株式会社エコロジテム

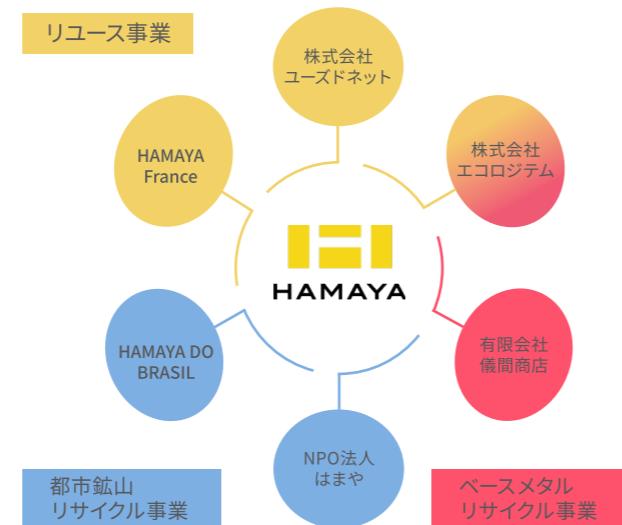
株式会社エコロジテムでは、物流とリサイクルの総合サービスを全国21の拠点で行っています。家電リサイクル品の収集運搬・医療機器等の重量物の廃棄・事務所の移転等による運送から、排出される産業廃棄物の廃棄まで、一貫した循環型物流を得意としています。

### HAMAYA DO BRASIL

浜屋 ブラジルでは、現地企業や業者等から電子基板を回収し、仕分け・分解作業を行っています。仕分けされたのち、日本の精練会社へ引き渡しリサイクルしています。

### HAMAYA France

浜屋 フランスでは、日本で収集した古道具、民芸品、骨董品などをフランスにて販売しています。国内では買値が付きにくい物であっても、フランスでは人気がある物も多々あります。フランス国内の様々な地域のお客様に浜屋の商品をお届けしています。



## NPO法人はまや

NPO法人はまやは、2拠点の就労支援施設で、障害者の就労訓練を行っています。株式会社浜屋で回収されたパソコンやゲーム機などの小型家電の分解・仕分けを障害者に委託し、その対価を工賃としてお支払いすることで障害者の自立支援に繋げています。また、手分解による資源回収を行うことでリサイクル率の向上に繋がり、循環型社会の一翼を担っています。



平均工賃

**38,873 円/月** (2023年4月- 2024年3月)

\*埼玉県平均工賃 15,024円/月(2022年4月～2023年3月)

障害者が分解した小型家電の台数

**666,221 台** \*2023年4月- 2024年3月

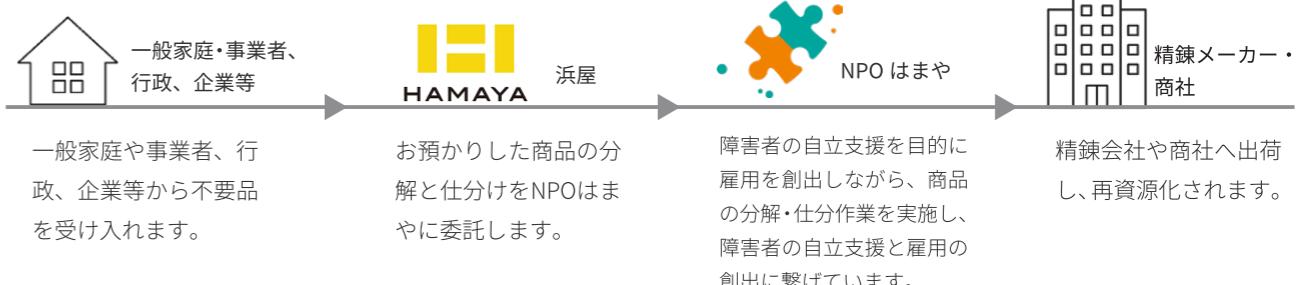
株式会社浜屋 EC事業において使用する宅配ボックスの組み立て作業を委託しています。

他にも、金属仕分作業など複数の業務委託を行うことで、様々な仕事に対応していき、将来的に一般就労を見据えた能力の向上に繋げています。

一般企業への就職者数

**3名** \*2023年4月- 2024年3月

### 商品のお持ち込み～再資源化までの流れ



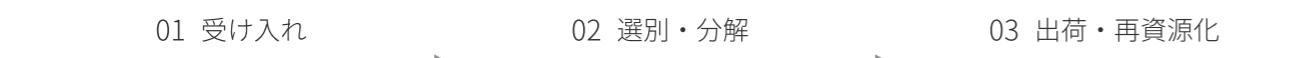
※「障害」の漢字表記について浜屋では以下の考えから「障害」という漢字を使用しています。

- ・「障害」というのは障害者本人ではなく社会の側の障害のことであり、障害者は社会にある障害と向き合っている人たちだという考え方がある。
- ・「障害者の気持ちを汲んで労わる」という言遣いは、少々見当違いであり、現実的な障害を取り除くことのほうが大事。

## HAMAYA DO BRASIL

浜屋ブラジルは、電子機器、基板のリサイクル事業を通じて、ブラジル社会において埋め立て処理される廃棄物の削減と雇用創出に大きく貢献してきました。また基板は高度な精錬技術のある日本へ出荷することで、高いリサイクル率の実現や日本の資源確保にも貢献しています。

### HAMAYA DO BRASILの流れ



一般家庭や現地企業等から電子機器や基板を受け入れします。

商材ごとに選別や分解を行い、より良い品質のリサイクル材を提供できるようにしています。

基板は日本へ出荷し、当社の東日本マテリアルセンターの破碎機で粉碎処理をおこない、精錬会社へ出荷されます。



### リサイクル品取扱量

**1,111 t**

\*2023年10月-2024年9月の取扱量

## HAMAYA France

浜屋フランスでは、日本で収集した古道具や民芸品、骨董品などをフランスで販売しています。日本では価値が付きにくい品でも、フランスでは人気のあるものがあります。蚤の市への出店やECサイトでの販売に加え、フランス国内だけでなく、ヨーロッパの近隣諸国で開催される大型イベントにも足を運び、日本の商品をお届けしています。

### リユース品取扱量

**約 66.9 t**

\*2023年10月-2024年9月の取扱量



### こけしリデザインプロジェクト

フランスのアミアン市にあるル・サフラン・コンヴェンション劇場で、2024年6月10日から8月30日まで、浜屋フランスが寄贈したこけし人形を使用した作品展示会「オリンピック・スタジアム」が開催されました。

この展示会は、フランスのアート学校教諭と劇場担当者が企画したものであり、その取り組みに賛同して、浜屋フランスが通常では商材として扱えず廃棄される予定だったこけし人形を提供しました。

7月にアミアン市がパリオリンピックに出場する日本代表団を迎えるにあたり、伝統的なこけし人形に個性を加えるという新たなアイデアが生まれました。エドゥアル・ブランリー高校のグラフィックデザイン科の学生たちが、昨年の木彫り熊プロジェクトに続き、こけし人形を文化的な象徴へと生まれ変わらせました。

心身の両面に影響を与える文化としてのスポーツが、こけし人形を通して表現されています。この取り組みは、アミアン北部の教育都市計画の一環として実施され、パリ2024文化オリンピアードの認定を受けています。

←6月19日のイベントでは約300人の若者が集まりました。

## 他社との協業

当社は他社と協業し、資源循環を促進するため新たなサービスを複数展開しています。他社と連携し、互いの強みを生かしたサービスを提供することで、リユース・リサイクルの可能性を広げています。



2018年より主に中古工作機械、中古計測器を売買できるマーケットプレイス「Ekuipp」を運営するEkuipp株式会社、そして関連会社の株式会社ユーズドネットと連携し、工場にある中古機器や部品の流動化を図り、二次流通市場を創造しています。



2020年より運送業界を代表する全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会と協力し、不要品をリユースとリサイクルにつなげる回収サービスを開始しました。売上的一部分で水を綺麗にする浄化剤を寄付する仕組みをつくり、途上国を支援しています。



2022年2月7日に、株式会社スタイルエージェントと協力し、株式会社uragamiを設立しました。不要品として回収された家具などを什器として蘇らせ、空間演出に活用しています。



2023年8月30日に、株式会社タウと協力し、お客様が車買取を行うことのできるサービスの提供を開始しました。買取をした車は、リユースできるものは海外へ輸出され、リユースできないものは資源として再利用されます。



2023年より株式会社オズビジョンと提携し、宅配買取事業「Pollet」を開始しました。買取サイトPollet経由で発送されていた商品を当社が査定・買取をします。



2024年より株式会社サカイ引越センターと提携し、引越時に発生した不要品を寄付いただく取り組みを開始しました。サカイ引越センターと当社は、世界規模でリユースを推進しております。



「TEAM EXPO 2025 プログラム」共創チャレンジ MOTTAINAI OSEKKAI 共創プロジェクトに参画し、他参画企業と連携しながら私たちの身近に眠る資源をより有効に、より効率的に活用することで、持続的な成長を可能とする“幸循環社会”の実現に取り組んでいます。



## モノの循環の流れ



## 民間企業や行政との協業

当社は、民間企業や行政から不要品を集め、リユース・リサイクルし資源循環を行っています。一般家庭からの不要品回収に加え、企業や行政からも回収することで多くの廃棄物の削減を可能にしています。

また、本社拠点である東松山市と災害時に発生するリユース・リサイクル品の買取を行う災害時の協定を締結しました。

### 民間企業からの不要品回収で廃棄物削減

企業や大学から不要品の回収も行っており、リユース・リサイクルにつなげています。



鉄道会社  
落とし物 / 車輪 / ケーブル



飲食業  
食器 / カトラリー / 調理器具



宿泊施設  
テレビ / エアコン



量販店・小売店  
在庫処分 / 下取りサービス品



役所・大学  
PC / 放置自転車



メーカー  
試作品 / 製造廃材



通販・宅配  
輸送事故品 / 収品交換品



IT設備  
PC / 通信機器 / オンサイト消去

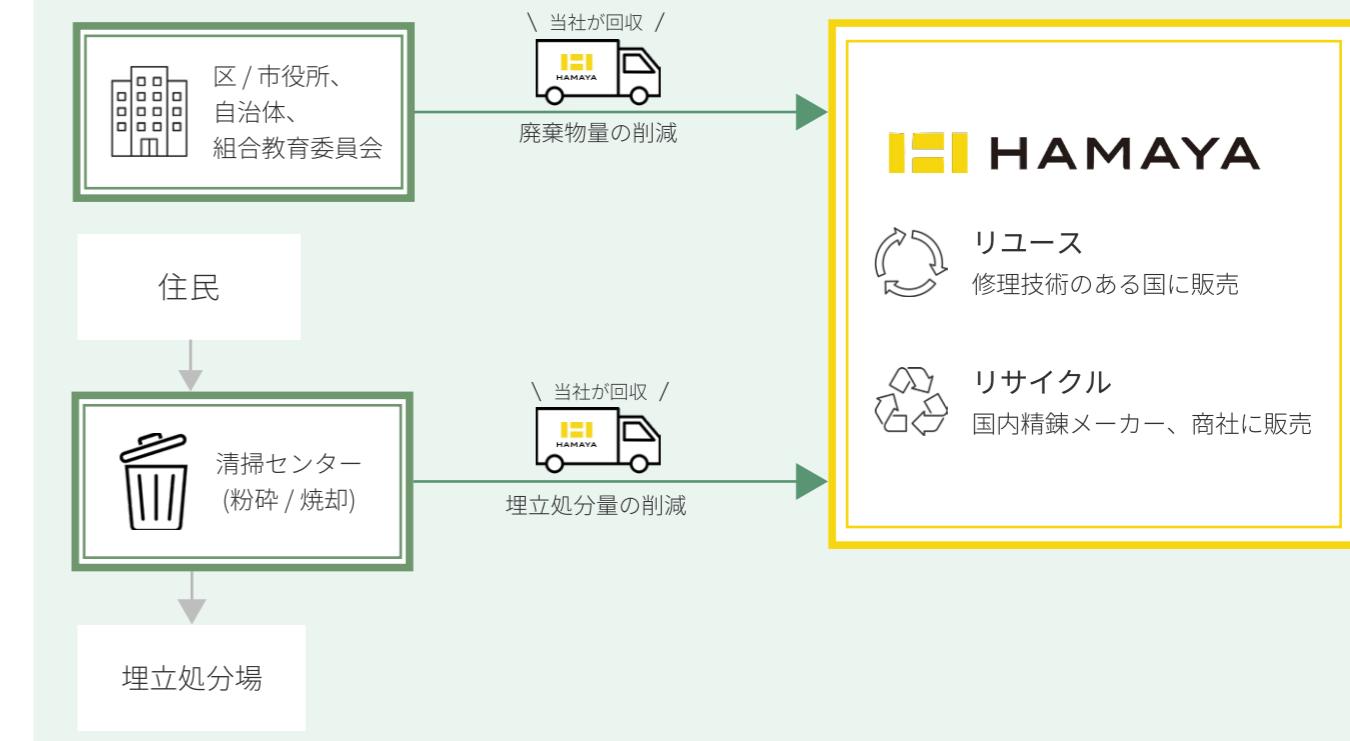
### 行政からの回収で 粗大ごみの再利用・再資源化に貢献

清掃センターに持ち込まれる一般の粗大ごみから発生する家電製品、雑貨、自転車等リユース商品を中心に買取をし、埋立処分量の削減と歳入の増加の両立を実現しています。

#### 取引実績 \*2023年10月- 2024年9月の取扱量

| 契約行政       | リユース品取扱量     | リユース品取扱量       |
|------------|--------------|----------------|
| 37 市区町村・組合 | 60,845 点 / 年 | 643,107 kg / 年 |

### 行政取引の流れ



### 東松山市と災害時の協定を締結

当社が加盟しているエース協同組合は、有事の際の地域復興に寄与するため、東松山市と協定を締結いたしました。災害時に浸水などで使用不可となったりリユース・リサイクル品を買取することで、当社も地域社会に貢献してまいります。



## 社内のサステナビリティ推進

従業員のサステナビリティに関する理解を深めるために様々な取り組みを実施しています。より多くの従業員にSDGsを身近・自分ごとに感じてもらい、社内に浸透させることを目指しています。

### 01 社内報や社内ポータルサイトでの情報発信

社内でのSDGs浸透のために、社内報やポータルサイトでサステナビリティやSDGsに関するトピックを取り上げ、発信しています。サステナビリティやSDGsの17の目標に関する理解を深めると共に、当社の事業がSDGsにどのように繋がっているのか、よりサステナビリティを推進していくことでどのような成果につながるのかを発信し、サステナブル経営を行う意義と価値観の浸透を目指しています。

### 02 国連グローバルコンパクトへCoPを提出

当社は国連グローバルコンパクトに加盟しており、人権・労働・環境・腐敗防止の4分野およびガバナンスに関する当社の実践状況と成果に関する報告書(Communication on Progress)を提出しています。代表取締役が国連グローバルコンパクトに継続的に支持することを表明する宣誓書と、質問書に対する自社の取り組み状況を回答し、報告しています。今後も毎年自社の取り組み状況を振り返り、グローバルコンパクトの4分野とガバナンスに対する取り組み強化を目指していきます。

### 03 環境負荷低減に向けた取り組み

脱炭素社会の実現に向け、環境負荷の少ない設備や機器への転換を進めることで、電力消費や排出ガスの削減に取り組んでいます。設備の更新を進めたことで、エネルギー起源のCO<sub>2</sub>の排出とランニングコスト削減に加え、運用改善、業務効率化、労働環境等の見直しにもつながっています。

#### ● フォークリフト

使用しているフォークリフトの内97%を、排気ガスが発生しないバッテリー式にしています。排気ガスの排出と騒音を抑えることができ、倉庫内で作業に従事する社員の健康被害のリスク低下にも繋がっています。

#### ● 複合機

全社で、消費電力やカートリッジ交換の負担が少ない複合機を使用しています。

#### ● 布おしほり

各拠点でお客様用に用意しているおしほりは、全て布おしほりをリースする業者と提携し、廃棄物削減に努めています。

#### ● LED

全社で、蛍光灯よりも使用期限が長く消費電力が少ないLED照明に変更しています。

#### ● 再生可能エネルギー

太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用に貢献しています。

## 環境意識を高める啓蒙・啓発活動

リユース・リサイクル事業を行う企業として、環境問題に関する啓蒙・啓発活動を積極的に推進しています。取引先を含めた多くの方々の環境への興味や関心を高め、リユース・リサイクルに関する意識向上に取り組んでいます。



### リサイクルや環境問題に関するWEBメディア エコトピア

環境問題の最新ニュースや、リサイクルの豆知識などの情報を発信するオウンドメディアエコトピアを運営し、環境への興味や関心を高める啓蒙・啓発活動を実施しています。より多くの人に環境問題を知ってもらい、リユース・リサイクルに関する意識を高めることで、より良い環境と資源を次世代に残し人類と地球を発展させることを目指しています。

エコトピア(ecotopia)とは、エコロジー(ecology)と理想郷を意味するユートピア(Utopia)を合わせた言葉で、地球環境に優しい理想の国や地域のことを言います。また、1975年に出版された小説「エコトピア」では、エコトピアは自然との共存を重視し、幅広いリサイクルを行う国家として描かれました。そういう理想的な社会を実現するためにも、エコトピアの名前を由来として、当社は環境やリサイクルに関する様々な情報を発信しています。



### 一般社団法人日本リユース・リサイクル回収事業者組合(JRRC)との連携

JRRCと連携し、コンプライアンスの向上等を目的とした研修、講習会を実施しています。また不要品回収業において、法令の遵守を大原則とし、正しく遂行していくために、回収業者様や行政と協力して様々な取り組みを行っています。

### 2024NEW環境展に初出展

2024年5月22日～24日の3日間、東京ビックサイトで開催された環境展に出展しました。当社としては初めての環境展への出展で、ブースに足を運んでくださった方に、事業全体についてご紹介させていただきました。当社の強みである豊富な取扱商品量を活かした総合力や、廃棄を抑えながら循環を実現する取り組みについてご理解いただける機会となりました。





## 社会方針

浜屋グループは、持続可能な社会の実現に向けて、「人権」「人材」「労働安全衛生」「健康経営」「社会貢献活動」の5つの軸で社会課題に取り組みます。すべての従業員が安心・安全に働き続けられる環境を提供するとともに、国際社会、地域社会とのつながりを深め、国内外問わず社会全体の発展に寄与する企業であり続けることを目指します。



### 01 適正な労働時間の確保と公正な賃金の提供

適用される法令を遵守し、従業員の労働時間、休日、休暇、賃金を適切に管理します。

### 02 労働安全衛生・健康経営・保安防災

適用される法令を遵守し、従業員が健康かつ安全に、そして安心して働き続けられる職場環境づくりに努めます。事故や災害の発生を予防できる体制をつくります。

### 03 風通しの良い職場風土づくり

すべての従業員が率直に意見や行動を示せるよう、互いの考え方や立場を尊重し、風通しの良い職場風土の醸成に努めます。

### 04 多様性の尊重

人種・出生・国籍・宗教・性別・性的指向・障害・思想などに基づく、いかなる差別も行いません。従業員一人ひとりの個性と多様性を尊重し、多様な人材が個々の能力を最大限に発揮し、自分らしく活躍できる環境をつくります。

### 05 ハラスメント・非人道的な扱いの禁止

パワーハラスメント、セクシャルハラスメントを含む、あらゆる形態のハラスメントを認めません。職場におけるハラスメント防止における規程を遵守するとともに、ハラスメント方針を堅実に実行し、従業員が尊重される職場環境を築くための努力を継続します。

### 06 強制労働・児童労働の排除

あらゆる事業活動において、強制労働、児童労働他不当な労働慣行を認めません。

### 07 地域社会への貢献・配慮

地域社会の皆様の安全や健康を守り、人権を尊重します。

また、国・地域をまたいだ社会的課題の解決に積極的に取り組みます。

# 人権

浜屋グループは、サステナビリティ方針に基づき、企業活動に関わるすべての人々の人権を尊重する取り組みを推進します。本方針は、グループ各社のすべての役員・社員（非正規社員を含む）に適用されるとともに、ビジネスパートナーを含む多様な関係者の皆様と協働し、人権尊重を目指します。また、世界中の基本的人権を規定する「国際人権章典」や「国連グローバル・コンパクトの10原則」をはじめとする人権に関する国際規範を支持し、尊重します。

## 働きやすい・働きがいのある環境づくり

当社は、浜屋グループに所属するすべての従業員にとって働きやすく、働きがいのある組織を目指し、さまざまな取り組みを実施しています。

### 提案制度

従業員が業務改善や新たなアイディアを提案できる「改善提案制度」を設けています。グループや部署を横断した提案など、会社の改善に関わる内容は全て対象となります。従業員から提案された内容は、各部署の代表者によって毎月提案会議内で採否が決定されます。

匿名での提案も可能となっており、提案された内容は全て社内SNSにて掲載され、全従業員が閲覧することができます。提案が採用されると、内容に応じて報奨金が出ます。

### プロジェクト提案制度「myプロ」

新規事業やプロジェクトを立ち上げる提案先として、部署横断型のmyプロ事務局を設置しています。2022年に実施した社内コンペでは、全従業員の中から約30名の新規事業の提案があり、社内選考を経て、「フロン回収サービス」と「遺品整理生前整理」の2つのプロジェクトが稼働しています。

提案者自らが主体となり、事務局員がサポートをしながら、プロジェクトを進めています。

### ハラスメント対策

2020年6月1日のパワハラ防止法を受け、2022年4月1日から中小企業でも会社としての対策が義務化されました。それを受け、全従業員にハラスメントに関する正しい知識を学ぶ研修を必須化しています。課長職以上の管理職は、ハラスメントが起きた際の対処法と管理職としての関わり方について理解を深めるオンライン研修を受講しています。その他、カスタマーハラスメント対策として対応マニュアルを作成し、管理者研修・事務員研修で具体的な対策方法と今後の対応について認識の統一化を図っています。

### ハラスメント対応窓口設置

ハラスメントに関する専用の相談窓口を設置しています。従業員がいつでも担当者に相談できるようになっており、プライバシーが守られる形で相談を受けられる体制を作っています。

採用件数  
**29 件 / 194 件**

#### 実際に採用された提案

- ・コミュニティサイト活用のためのサイネージ配信
- ・システム効率化のための施策
- ・商品基準変更
- ・救命訓練の実施
- ・防災リュックの準備



### エンゲージメント調査

年に2回、組織や従業員のエンゲージメント状態を可視化・数値化する外部のサーベイ調査を導入しています。組織の強みと課題を分析し、部署ごとに改善に向けた取り組みを実施しています。サーベイ調査は全て匿名で実施され、秘匿性が担保されています。サーベイ調査を通して、全従業員が会社や上司に関する意見を自由に述べることができます。

#### ■ 静岡支店チームアワード賞受賞！

社員エンゲージメントを高めた部署を表彰するMotivation Team Award2024（株式会社リンクアンドモチベーション主催）にて、静岡支店が優秀賞を受賞いたしました。エンゲージメントスコアだけでなく、組織改善に向けてアクションした結果、事業/組織に変化が見られたことが評価されました。



## ワークライフバランスの支援

従業員が活き活きと働き続けられるよう、ワークライフバランスの取れた働き方ができるよう支援しています。



### 有給休暇取得促進

全従業員が積極的に有給休暇を取得できる環境整備をしています。人員が少ない拠点の従業員が有給休暇を取得できるように、サポートメンバーを採用し各店舗へ派遣する体制を整えました。これにより年々、有給休暇取得率が上昇しています。

### 有給休暇取得率



### 育児休業制度活用推進

男女共に育児休業制度を取得できる環境づくりに努めています。休職者へのフォローを行い、職場復帰のタイミングなど復職支援の面談を実施しています。必要な時に出産・育児に専念できる環境、そして安心して職場復帰できるようサポートしています。

### 育児休暇取得率 女性 男性



\*男性社員2名は入社1年未満のため、育児休業取得の対象外。該当の2名を除いた男性社員の育休取得率は60%。

### 企業主導型保育所運営

2018年に企業主導型保育所「もれあ保育園」を開園しました。会社近くに設置し、子どもの急な体調不良等にも対応しやすい環境になっています。従業員の子どもは、枠を確保ができ、優先的に入園することができます。これにより、女性社員の希望に応じたタイミングでの職場復帰がしやすくなりました。

“もれあ”とは、南アフリカ原産の花の名前で、花言葉は『感受性』です。感受性豊かな子どもに育ってほしいという願いから『もれあ保育園』と名付けられました。自己肯定感を育み生きる力の土台をつくることを保育方針に掲げ、子ども達の自主性を尊重する保育を行っています。

## 安心・安全な職場環境づくり

貢取拠点を統括する管理者が中心となり、毎年働きやすい環境づくりのための取り組みを積極的に行っています。今年度は、近年の夏季における高温環境をふまえ、従業員の健康と安全を確保するために課題となっていた熱中症対策に取り組みました。特に屋外作業や高温環境での作業を行う従業員にとって、熱中症のリスクが高まっていたため、対策が急務でした。解決策として、全従業員に対して以下の物品を支給し着用を義務化することで、安心・安全な職場環境づくりにつなげました。

- 空調服  
内蔵ファンで空気を循環させ、体温上昇を防ぐより機能的なものに変更
- ネッククーラー  
首回りを冷却することで、熱を効果的に発散し、体温調整を助けるツールとして活用
- 冷感インナー  
通気性と冷感効果が高い素材が使用されており、汗の蒸発を促進し、体感温度を下げるために活用



↓冷感インナー



その他、スポットクーラーの設置や冷感スプレーの配布など、より快適に作業できる工夫を重ねています。

また、天気予報で35度以上が観測されると自動で全従業員に「熱中症対策の徹底」に関するメールを配信し水分補給と塩分摂取の徹底を促す等、熱中症を防ぐための注意喚起を積極的に行っています。

また、屋外の事業所で作業にあたる従業員については、夏季期間の猛暑手当を支給しています。

### 取り組みの成果

- 热中症のリスクが大幅に減少した
- 従業員からも「快適な作業環境が提供され、作業効率が向上した」との声が多く寄せられた
- 作業の安全性が向上し、健康被害の防止ができた



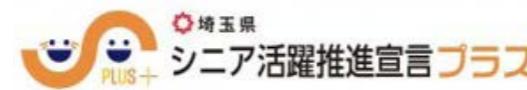
## 多様な人材の活躍推進

当社は、一人ひとりが属性に関わらず、すべての従業員が認められ、その人らしく活躍し続けられるよう、多様な人材の活躍を推進しています。

## シニア層の雇用

当社は、2022年4月に「埼玉県シニア活躍推進宣言企業プラス」の認定を受けました。

これまで、元気なシニアが自身の希望にあわせて働くことができるよう、定年・継続雇用の年齢延長や定年の廃止、シニア向けの仕事の創出など、シニアの活躍の場を拡大する取り組みを推進する企業を認定する「シニア活躍推進宣言企業」の認定を受けていましたが、定年を廃止、定年を70歳以上又は継続雇用の上限年齢を70歳以上としていることから、「埼玉県シニア活躍推進宣言企業プラス」の認定をいただきました。



## 古本寄付

NPO法人はまやに、取引先より回収した古本と従業員より回収した古本合計2,344冊を寄付しました。NPO法人はまやでは、書籍の査定、検品、クリーニング、出品、出荷を行い、査定から販売まで関わっています。従来実施していた小型家具の分解作業に加えて、書籍の検品とクリーニングの作業が加わり、仕事の幅と可能性が広がる機会となっています。

社内やグループ内の事業所(カーブス)にも回収ボックスを設置し、従業員の意識向上や行動促進にも繋がっています。

※「障害」の漢字表記について浜屋では以下の考え方から「障害」という漢字を使用しています。

- ・「障害」というのは障害者本人ではなく社会の側の障害のことであり、障害者は社会にある障害と向き合っている人たちだという考え方がある。
- ・「障害者の気持ちを汲んで労わる」という気遣いは、少々見当違いであり、現実的な障害を取り除くことのほうが大事。

## 障害者の就労機会の創出と就労支援

### 小型家電等の分解・分別委託

当社が回収した一部の小型家電の分解・分別を障害者の就労支援施設に委託することで、障害者の就労機会の創出と就労支援に役立てられています。分解・分別に対して工賃を支払っており、自立支援にもつながっています。





## 人材

浜屋グループは経営理念として「WIN-WIN」を掲げ、行動指針として「お客様の喜びを常に考えて行動する」「常に感謝の気持ちで平等・公平に接する」を定めています。また、事業活動を通じて循環型社会の構築に貢献することを目指しています。これらを実現するためには、社員一人ひとりが経営理念を体現し、自らの業務にやりがいを持ちながら、それぞれの個性を活かしていきいきと活躍できる、エンゲージメントの高い組織を目指します。

社会から求められる企業であり続けるためには、社会の変化に応じて会社も柔軟に変化し、事業と組織を持続的かつ革新的に発展させることが必要です。その実現には、社員一人ひとりの成長と、専門的な知識やスキルを備えた人材の存在が不可欠です。

さらに、社員の学びや成長は、会社組織の利益だけでなく、社員自身の自己実現にもつながります。浜屋グループは、社員の自発的な能力開発を支援し、挑戦を通じてより豊かな人生を歩めることを目指しています。こうした考えのもと、社員の成長が会社の発展を支え、会社の発展が社員の成長を促すという協力関係を築きます。そして、社員が個々の能力を最大限に發揮し、長期的に活躍し続ける環境を整備していきます。

### 目指す人物像

浜屋グループは、以下の要素を兼ね備えた人材の育成を目指します。

#### 経営理念

経営理念を体现できる人材

#### 自律性

会社の課題を自分ごととして捉え、より良い組織作りに向けて自ら考え、行動できる人材

#### 柔軟性 挑戦力

社会の変化に対応できる柔軟性を持ち、変革を恐れず新たなことや困難なことに挑戦しつづけられる人材

#### 自己成長

自身の強みを磨き、目的達成のために必要なことを自律的に学び続けられる人材

#### 目的思考

何事も目的を明確にして取り組み、目的を達成するために必要な行動ができる人材

### 適正な人事評価と運用

当社では、人事評価制度を従業員の自律的な成長を促す仕組みの一つとして位置づけています。従業員が発揮した能力や成果を適正に評価し、従業員の成長を促しています。2024年度は評価制度を改訂し、評価項目を通じてそれぞれの職位に求められる役割をより明確にしました。新評価制度では、「自己成長への取り組み」をすべての職位の評価項目に定め、自己成長のための継続的な学習文化の醸成を図ります。

上司は部下と定期的に面談を実施し、業務上の成果や具体的な行動を振り返り、フィードバックを通して従業員のモチベーションを向上し、自律的な成長を支援しています。

### 人材配置の最適化

従業員の能力や適性を考慮し、個々が持つ能力を最大限に発揮できるよう適材適所・適所適材の人材配置を行っています。事業発展のために必要、かつ最適な人材を配置すると同時に、従業員の個性や強みが活かせる配置を考えています。会社のビジョンや成長戦略に基づいた人材配置を行い、組織の戦略的な成長を目指します。

### 従業員のエンゲージメント向上

社内行事やSNSの活用を通して社内コミュニケーションを活性化し、良い組織文化・共有価値観の醸成と従業員のエンゲージメント向上を目指しています。浜屋グループの目標は、ビジョンや方針を明確に伝え、従業員全員が共通の目標に向かって行動できるよう組織の一体感を強化しています。

### 経営理念の浸透

100年愛される企業を目指すため、経営理念や当社が大事にしてきた考え方などを形に残し、従業員一人ひとりが日々の業務で活かせるよう、浜屋ライブラリーチームによって、経営理念浸透のためのさまざまな取り組みを実施しています。

### 浜屋の教養

当社の歴史や、創設者が大事にしてきた考え方や経験について理解が深まるエピソードを収集し、「浜屋の教養」というオリジナル電子冊子を作成しています。当社の経営理念を体現しているエピソードを通して、経営理念に対する理解を促進しています。

### 人間力を磨く取り組み

全従業員に対して、人間学を学ぶ月刊誌『致知』を配布し、毎月、事業所ごとに記事を読んだ感想を共有し合う「社内木鶴会」を実施しています。参加者が感想を共有し合うことで、さまざまな価値観に触れ合うことができ、視野を広げることに繋がっています。また、職位をこえて交わるコミュニケーションの場にもなっています。





## 多種多様な研修プログラム

当社は、人材育成を経営の重要課題の一つとして位置付けており、従業員一人ひとりが強みを活かしながら会社と共に成長できるよう、多面的な研修プログラムを用意しています。OJTとOff-JTを組み合わせ、積極的に社内外の研修を活用しながら人材育成に取り組んでいます。2024年度、当社は社員研修の直接費用として、従業員一人あたり、約62,000円を投資しました（旅費や交通費を除く）。

- 総教育投資額  
約 26,180,000 円
- 従業員1人あたりの教育投資額  
約 62,000 円

| 職位    | 職位別                                 | 職種別                              |
|-------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 就任時研修 | 経営知識、マネジメント、戦略的思考、コミュニケーション、リーダーシップ | 営業(国内) 営業(海外) 人事 経理 システム 事務 店舗運営 |
|       | リーダーシップ、フォロワーシップ、チームビルディング          |                                  |
|       | チームワーク、人間力、リーダーシップ、フォロワーシップ         |                                  |
|       | チームワーク、業務遂行力                        |                                  |
|       | 事業理解、コミュニケーション                      |                                  |
|       | 経営理念、コンプライアンス、ハラスメント、サステナビリティ       |                                  |
|       | ビジネス基礎、思考法、キャリア形成、ITスキル             |                                  |
| 全社共通  |                                     |                                  |
| 目的別   |                                     |                                  |

## オンライン学習システムの導入

従業員一人ひとりが、それぞれの職位や職種に応じて必要な資質・スキルを身に付けられるよう、社外のオンライン学習システムを導入しています。従業員が自律的に学習計画を立て、必要なタイミングで研修受講できる環境づくりに注力しています。

### 導入システム

- オンライン学習システムSchool
- ジョブラーニングアプリGrowth College

## 階層別研修

当社では、従業員の職位に応じて必要なスキルや知識を習得できるよう、階層別研修を提供しています。各階層に特化した内容を提供し、役割に応じた能力開発を支援しています。

### 34期実施研修(一部)\*

| 対象者           | 主要なテーマ   |
|---------------|--|
| 新卒入社社員(本社)    | ビジネスマナー / コミュニケーション / 業務遂行力                            |
| 中途入社社員(本社・店舗) | 経営理念 / 事業内容 / 安全                                       |
| 入社2・3年目社員(本社) | 業務発表 / リーダーシップ   |
| 入社2・3年目社員(店舗) | 人間力 / 業務遂行力 / チームワーク                                   |
| 主任・係長(本社)     | リーダーシップ  |
| 係長(店舗)        | リーダーシップ / フォロワーシップ / 安全                                |
| 課長・次長(店舗)     | チームビルディング / コミュニケーション / 安全 / 顧客満足度向上 / 商品知識 / 店舗ビジョン策定 |
| 課長(本社・店舗)     | マネジメント   |
| 次長(本社・店舗)     | 経営理念 / マネジメント  |

\*2023年10月～2024年9月

\*社外研修含む

## 職種別研修

当社では、従業員がそれぞれの専門分野で高いパフォーマンスを発揮できるよう、職種別に必要なスキルを習得できる職種別研修を提供しています。社外研修を積極的に活用しながら、各職種の専門性を高めることを目指しています。

### 34期実施研修\*

| 職種      | 研修名              |
|---------|------------------|
| 事務員(店舗) | 事務員研修            |
| 営業      | 営業マスター研修         |
| 海外営業    | 貿易実務研修           |
| 人事・労務   | 人材開発 / 採用 / 労務研修 |

\*2023年10月～2024年9月

# 労働安全衛生

浜屋グループは、安全衛生管理活動の充実を図り、労働災害の未然防止に必要な基本事項を明確にすることで、社員の安全と健康を確保します。また、快適な職場環境の形成を促進し、作業の円滑な遂行を支えるとともに、事業活動の向上を目指します。

## 事故防止

### 事故削減プロジェクト実施

2022年度より事故削減プロジェクトを発足し、事業所での事故削減を目指しています。本社管理者と各エリアの事業責任者がプロジェクトに参画し、月に1回、プロジェクトメンバーで事故削減に向けた改善策を話し合っています。事故の深刻度や規模に関わらず全て報告することを徹底し、事故発生要因の解明や再発防止に向けて活動しています。

また、本社管理者が、必要に応じて事故発生が多い拠点をまわり、事故削減会議に参加し、再発防止に向けた改善活動を強化しています。

### ヒヤリハット報告・改善・共有の徹底

各事業所では、朝礼・昼礼・終礼などで従業員同士のヒヤリハット共有を徹底する他、従業員が隨時ヒヤリハットを報告し、全拠点分を毎月月末に全拠点に共有する仕組みと体制が整っています。

毎月、各拠点ごとにヒヤリハットに対する改善・対策を検討し、改善活動を実施し、改善活動報告書にまとめています。

各エリアの事業責任者は、改善活動報告書を確認し、各拠点に指導をしています。

### 社内SNSを活用した意識改革

社内SNSにて、月ごとの事故発生件数と注意喚起を呼びかけることで、事故発生状況を可視化し、事故防止に向けた従業員の意識向上を図りました。

### パトライトの導入

フォークリフト関連の事故を減らすため、パトライトを全拠点にて導入しました。周囲の作業者や車に明確に存在を知らせることで、フォークリフトの運用の安全性を高め、接触事故の予防を目指しています。



## 安全研修

事故の削減を目指し、管理者や新入社員を対象に安全研修を実施するとともに、全社員を巻き込んだ安全教育を推進しています。

### ■ 管理者

事故要因の解明と再発防止方法を考えるワークショップを定期的に実施しています。管理者同士で意見を出し合い、事故ゼロを目指し取り組みを強化しています。



### ■ 一般社員

フォークリフト資格取得時に、管理者が各事業所にてテストを実施・評価し、現場で実践する前にフォークリフト使用者のスキル向上を目指しています。

### ■ 全従業員

事業所ごとに実施している危険予知訓練（KTYトレーニング）を通して、従業員全員で危険を予測し洗い出し、予防策を考えまとめています。

### ■ 新入社員

入社時に敷地内の危険箇所や危険要素を説明し、安全に関する基本ルールの遵守を徹底しています。カッターや刃物などの備品の扱い方等も入社時に徹底して指導しています。

入社半年～一年の間に実施される中途入社者オリエンテーション研修の中では、事故が起きやすい状況や、フォークリフトの動きの特徴について説明し、事故防止のための基本的な考え方を学んでいます。

# 健康経営

浜屋グループは、従業員一人ひとりが心身ともに健康で仕事にやりがいを持って生き生きと働くことができる組織を目指しています。その実現に向けて、従業員の健康への意識向上を図る取り組み、誰もが働きやすい職場環境作りを推進していきます。

## 健康管理の促進

### 健康診断と保健指導実施

全従業員を対象に健康診断を実施し、受診率100%を達成しています。診断結果に応じて、専門家による保健指導を実施し、改善に向けて必要な情報を提供することで、積極的にサポートしています。

### 相談室の設置

外部提携先が提供している相談プログラムを導入し、公私について悩みがある際に従業員が専門家に相談できる相談室を設置しました。電話、対面、LINEなど、従業員の都合にあった形で相談できる環境を整備しています。相談内容は秘匿情報として扱われるため、相談者は安心して相談することができます。

### 専門機関との連携

外部の専門機関と連携し、産業医・保健士が定期的に会社に来社し、必要に応じてサポートできる体制を整えています。

### 検査・予防接種費用補助

病気の早期発見や予防のために、下記の検査や予防接種費用を会社が負担しています。

- 人間ドック / 高精度人間ドック費用一部負担\*
- 特殊健康診断
- ピロリ菌検査
- インフルエンザ予防接種費用\*（勤務時間内の接種推進）
- 海外渡航(出張)に必要な予防接種費用

\* 会社規程あり

### 昼食の現物支給

昼食の現物支給を通して、豊かな食生活を送れるようサポートしています。バランスの取れた食事を提供することで、従業員の健康意識を高め、生活習慣の改善や仕事のパフォーマンス向上に貢献しています。



当社は、2020年より連続して健康経営優良法人の認定を受けています。健康経営優良法人制度とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みを元に、特に優良な健康経営を実践している法人を日本健康会議が認定する制度です。

その他、埼玉県健康経営実践事業所認定や埼玉県健康宣言事業所登録をしています。



## 健康維持・増進

### メンタルヘルスケア

厚生労働省で定める指針57項目と「こころの健康診断」15項目に関するストレスチェックを、全従業員を対象に実施しています。従業員一人ひとりのマイページ内で、いつでも検査結果を確認することができます。高ストレス者に対しては、保健師・産業医による個別面談を設けています。

### ヘルスリテラシー向上

メンタルヘルス、ストレスのセルフマネジメント法、メンタルタフネス度向上等に関する基礎知識を学べるライブラリーや動画を提供する外部システムを導入し、必要に応じて従業員がメンタルヘルスに関する情報にアクセスできるようにしています。

### 受動喫煙・禁煙対策

受動喫煙を防ぐために、分煙を徹底しています。禁煙希望者に対しては禁煙を促進しています。

### 怪我防止

従業員の怪我防止や疲労回復を目的に、マッサージ施術を無償で提供しています。また、腰痛予防や怪我防止のために、各拠点の全従業員にガードナーベルトとインソールを支給しています。

### 運動機会の増進

従業員とその家族の健康増進を支援するため、従業員のフィットネスジム利用費に對して補助金を出しています。

■ 浜屋の運営するカーブスに通う場合

従業員： 4,000円/月  
配偶者： 2,000円/月  
入会費： 全額/1回に限る

■ 他企業が運営するジム等に通う場合

従業員： 3,000円/月  
配偶者： 1,500円/月

浜屋グループは、埼玉県内でフィットネスクラブ事業（カーブス）を5店舗運営しています。「地域密着の健康インフラ」を目指し、社会課題の解決に貢献することを基本方針に掲げ、病気と介護の不安と孤独のない生きるエネルギーが溢れる社会をつくるために、正しい運動習慣を広めることを通じて、お客様と私たち自身の豊かな人生と、社会の課題の解決を実現することを使命としています。



### 地方自治体との連携

「地域密着の健康インフラ」の一環として、地域住民の健康意識を高めることを目的とした健康イベントを開催するなど、自治体と連携して地域住民の健康づくりを支援しています。

2020年6月には、埼玉県東松山市と「東松山市まち・ひと・しごと創生に関する協定」を締結しました。地方自治体と連携し、定期健康イベントへの協賛や、市民の方々の健康づくりを企画、実施しています。

### 2024年度 イベント協賛実績

- 日本最大のウォークイベント スリーデーマーチ（2023年11月3日～5日）
- 嵐山夏まつり(2024年9月21日)
- からだ健康チェック（定期開催）
- 脳と体のげんき教室「なばな」（年5回）



## 社会貢献活動

浜屋グループは、「企業は社会の公器であるからこそ、できる限り社会に御返しする」という信念を持っています。国内外で何らかの支援を必要とする人々がいれば、私たちはその人々の助けとなるべく、組織、地域、国の垣根を越えて積極的に支援します。

### 重点分野

浜屋グループは、経営理念と行動指針に基づき、地域社会、国際社会の一員としてステークホルダーと協働し、それぞれの国・地域のニーズに沿った活動を行います。「環境保全」「地域貢献」「災害支援・人道支援」を重点分野に定め、積極的に社会貢献活動に取り組みます。そして、従業員の自主的な社会貢献活動を支援する仕組みと環境を整えます。

### 実施判断基準

社会貢献活動は、下記の観点を総合的に勘案して実施いたします。

- 社会から必要とされていること
- 事業活動との関連性
- 国際的な課題との関連性
- 地域との関連性

### 寄付実績

#### 段ボールの寄付

当社のEC事業でお客様が不要品郵送に使用された段ボール560枚を、教育実践機関「amazing college」主催のイベントに寄付いたしました。イベントは、「子どもと大人と一緒に学び、共に創り上げていきながら、社会とつながる『きっかけ』の場」として開催されており、当社が寄付した段ボールは親子で作る段ボールアートの材料として使用されました。

#### 子ども食堂への寄付

当社本社の近隣地域の子ども食堂に、運営支援協力金を寄付し、微力ながら活動を支援しています。

- 子ども食堂きらり 運営支援協力金
- こども食堂応援プロジェクト東松山えがお

#### 「緑の募金」への寄付

公益社団法人国土緑化推進機構の「緑の募金」への寄付を通して、植樹や間伐など国内の森林整備や、震災で被災した方々の支援、子どもたちへの森林環境教育、海外の緑化支援活動などを支援しています。

その他にも、本社近隣の地域で行われるお祭りや、高校の文化祭にも協賛しています。

### 災害支援

#### 義援金・救済金の寄付

自然災害発生時は、被災者および被災地の一刻も早い復旧を願い、当社から各団体に義捐金・救済金を寄付いたしました。

- モロッコ大使館モロッコ地震救援金 30万円
- HAWAII COMMUNITY FOUNDATION-MAUI ST RONGハワイ基金 30万円
- 日本赤十字社リビア洪水救援金 30万円
- 能登半島地震 災害義捐金 81万3,790円  
\*社員・お客様からの寄付金も含む
- 特定非営利活動法人 日本・パパアニューギニア協会 地滑り災害 30万円
- ウクライナ大使館 ウクライナ人道危機 30万円

#### ボランティア活動

能登半島地震発生時は、社内で参加者を募集し、希望した5名の従業員が現地にて復旧活動にボランティアとして参加しました。各自治体の指示に沿って、瓦礫撤去や土嚢運びなどに取り組みました。

### 中古家電・家具の寄付

教育実践機関「amazing college」の「防災リゾートジョイライフ」に、当社の中古家電・家具（電子レンジ、テレビ、ぬいぐるみ、食器等）を寄付し、活用いただいています。





## 01 コーポレートガバナンス

浜屋グループは、「WIN-WIN お客様の喜びを常に考えて行動する、常に感謝の気持ちで平等・公平に接する」という経営理念のもと、「もったいないを広めよう」というスローガンを掲げ、循環型社会の実現に貢献することを目指しています。そのために、さまざまな関係者と公正かつ良好な関係を構築し、事業環境の変化に応じて公正、迅速な意思決定ができるよう、当社にとって最適なガバナンスの在り方を、追及し続けます。

## 02 コンプライアンス

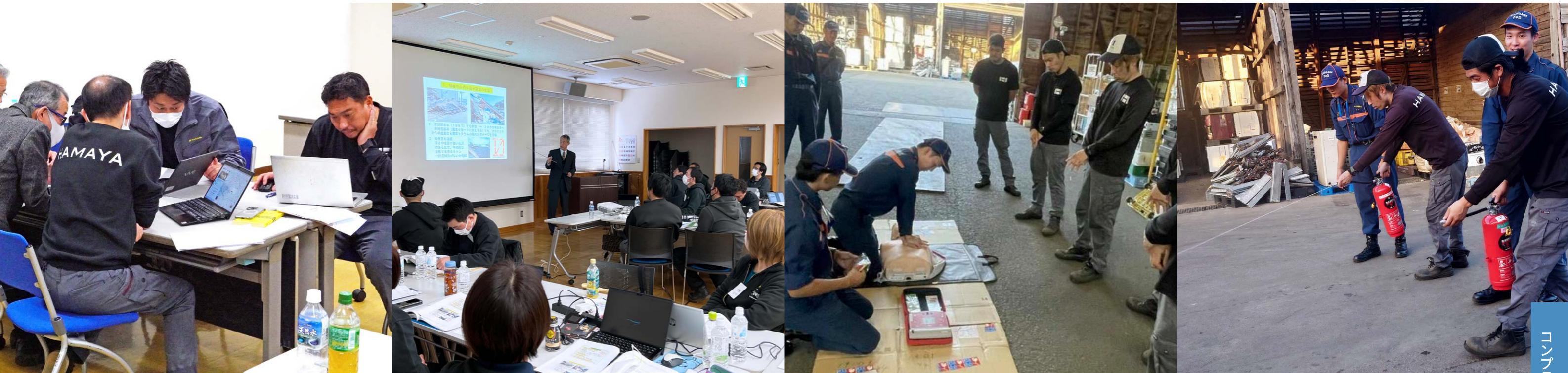
法令をはじめとした社会のルールを遵守するとともに、事業活動において企業倫理の実践を目指し、公正・誠実に業務を遂行いたします。法令の制定・改正状況に合わせ、研修等を通して周知し、遵守状況を確認します。

## 03 リスクマネジメント

事業活動にかかる様々なリスクを認識・把握し、リスク管理と有事における対応を定め、必要な対策を実施・改善しています。持続可能な事業運営を行うため、状況変化に応じてリスクを適時評価しリスクへの感度を高めるとともに、対応力向上に努めます。

## 04 事業継続計画(BCP)

浜屋グループは、事業の持続可能性を確保し、災害に備えた予防対策を強化するために、事業継続計画(BCP)の策定と運用を重要な柱に位置付けています。「浜屋グループ BCP」を用いて日常から防災対策を強化するとともに、万が一の災害発生時の会社や社員の対応基準を明確にします。



## コンプライアンス

### 回収業者のコンプライアンス遵守に向けた取り組み

一般社団法人日本リユース・リサイクル回収事業者組合(JRRC)と連携し、回収事業者のコンプライアンス意識の向上を目的とした勉強会や研修を実施しています。研修では、直近1年間で変更のあった法令に関する情報を提供し、法令遵守の理解を深める取り組みを行っています。

### 二輪車盗難照会システムの活用

二輪車盗難照会システムを用いて、取引車両をチェックし、盗難車両の中古市場への流入を防止し、犯罪の早期発見に繋げています。不公正な取引の抑制および排除を目指し積極的に取り組んでいます。

### 品質管理の徹底

当社では、取り扱い商品ごとに商品マニュアルを用意し、全拠点で統一した基準に沿った買取ができるよう、品質管理を徹底しています。リユース品、リサイクル品すべてにおいて買取基準を明確にし、すべてのお客様に平等・公平に商品の仕入・販売ができるように努めています。

海外や国内の需要にあわせて商品買取基準を適宜見直し、商品マニュアルも随時更新しています。商品マニュアルの一部は、商品をお持ち込みいただく業者の皆様にも配布し、連携を図っています。

また、「浜屋品質10力条」を作成し、買取商品の質を高く保つためのルールを定め、従業員全員で品質向上を目指しています。

### E-wasteを含む特定有害廃棄物の取り扱い

E-wasteを含む特定有害廃棄物の取り扱いの輸入取引については、バーゼル条約を含む規制に関する法律（条約）に則り、適切に取り扱っています。



浜屋品質10力条



商品マニュアル

### リユース品の取り扱い

取引企業との契約は、リユース品を適切に修理できる技術と、修理フロー書の提出をクリアした該当企業のみリユース品の取引契約を締結しています。

環境省に対して、修理不能品の返品状況と修理状況を定期的に報告することに加え、定期的に海外の取引企業を訪問し、適切な修理・販売がされているかを確認しています。海外の取引企業とは日々密にコミュニケーションを取り、海外の生活環境や需要の変化に応じて、取扱商品の増減や、リユースできる商品の基準等を小まめに調整し、現地で不良品が発生しないように対応しています。

また、環境省が取引国の現地調査を実施する際は、積極的に協力しています。

## リスクマネジメント

### BCP策定

浜屋グループでは、災害や事故、システム障害などの緊急事態が発生した際に、事業の継続性を確保するために、「浜屋グループBCP」を策定し、管理者が拠点ごとにBCPを策定し、リスク管理や危機管理の体制を強化しています。組織全体で有事に備え、事業継続への取り組みを徹底しています。

### 防災訓練士の資格取得

災害発生時に組織をけん引し率先して応急処置や復旧に取り組むことができるよう、管理者が一般社団法人防災訓練士協会主催の防災訓練士の資格を取得しました。勉強会を開催して防災に関する知識を深めるとともに実際の訓練を通して対応力の向上を図りました。

### 防災訓練

災害時に迅速かつ的確に行動できるようにするために、消防署にご協力いただき拠点別に防災訓練を実施しました。心肺蘇生法や止血方法、AEDの使い方を学んだ他、消火訓練も実施しました。



## お客様とのコミュニケーション

### アンケート実施

当社の店舗に商品をお持ち込みいただくお客様を対象に、アンケートを実施しています。各拠点に設置しているアンケートはがきやWEBでのアンケートフォームから、いつでも利用いただいた感想や要望等を受け付けています。お客様から頂いたご意見等については、代表取締役や店舗管理者が個別に対応しています。お客様に頂くお声をもとに、迅速な改善・解決を図っています。



アンケート

### 浜屋接客10力条

当社では「浜屋接客10力条」を作成し、従業員全員がお客様とのコミュニケーションを大切にし、お客様から高い評価と信頼を得られるよう、日々心掛けている。



浜屋接客10力条

### コミュニティサイト「はまなび」

当社では会員様限定サイトはまなびを運営しています。はまなびでは、お客様の好きなタイミングで商品マニュアルや商品価格、店舗の混雑状況をリアルタイムで確認いただけます。はまなびを通して当社にご来店いただくお客様のカスタマーサクセスとカスタマーサテイスファクションの向上を目指しています。

### 当サイトでできること

- 商品マニュアルの確認
- 商品価格の確認
- 店舗の混雑状況をリアルタイムで確認
- 取引履歴の確認
- 所有ポイントの確認
- 対象商品の買取単価アップ

会員数 \*2024年9月末現在

4,408名

## DX推進

### 社内アプリの開発

当社ではDX推進の一環として、ペーパーレス化や業務プロセスの見直しを積極的に行ってています。自社内のシステム部門を強化し、アプリ開発を行っています。当社の実態にあった、より柔軟なシステムの開発を行い、生産性の向上、環境負荷の低減に努めています。

これまでの自社内でのアプリ開発の実績

- 経費精算アプリ
- 人事評価制度アプリ
- 備品点検アプリ
- 商品マニュアルアプリ
- 店舗間在庫移動処理アプリ



HAMAYA